



論文執筆セミナー アクセプトされやすい 英語論文とは？ ～出版社の立場から～

2016年10月19日
滋賀医科大学様

エルゼビア・ジャパン株式会社
高橋昭治
s.takahashi@elsevier.com

ELSEVIER

アクセプトされやすい英語論文とは？ | 2

エルゼビアの主な電子製品

ScienceDirect



エルゼビアのフルテキストデータベース
約2,500誌の電子ジャーナル
35,000タイトル以上の電子ブック

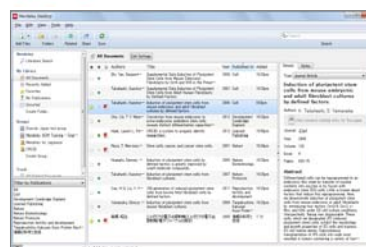


Scopus



世界最大級の抄録・引用文献データベース
世界5,000社以上の出版社の
22,000誌以上のジャーナル

MENDELEY



無料の文献管理ツール&研究者ネットワーク

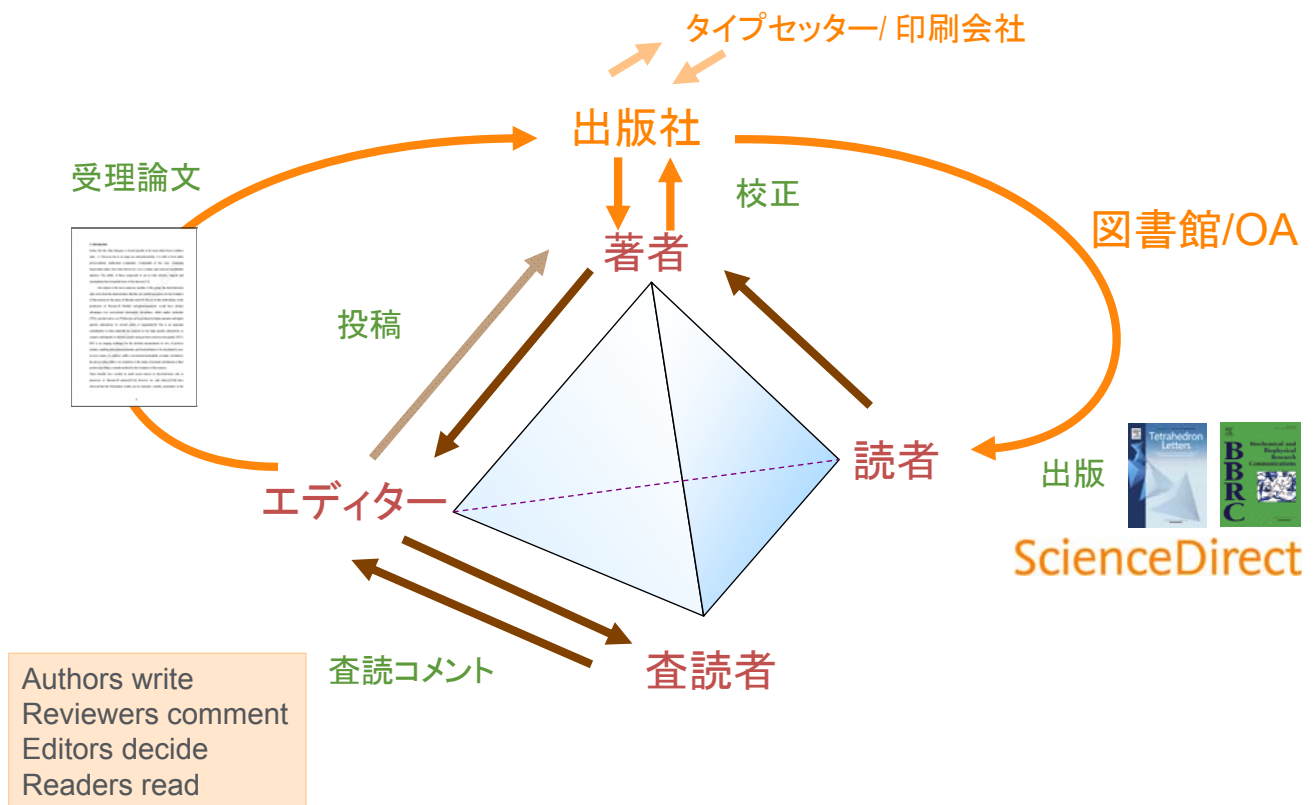
本日の内容

- ジャーナル出版の流れ / なぜ論文を書くのか？
 - 先行研究を調査する (Scopusを例に)
 - 適切なジャーナルの選択
 - 科学英語
 - 論文の構造
 - 論文投稿後のプロセス
 - 発表した論文のプロモーション
 - 出版倫理
-
- Mendeleyの紹介



ジャーナル出版の流れ /
なぜ論文を書くのか？

ジャーナル出版の流れ



なぜ論文を書くのか？

科学コミュニティの観点から

- 研究者間あるいは科学コミュニティ内において、新規性のもの、進展のあったものを共有するため
- ジャーナルは学術コミュニケーションの基礎
- 新しい研究は、それまでの研究の関連情報の上に成り立っている『巨人の肩の上に立つ (Stand on the shoulders of giants)』

“In determining the suitability of submitted articles for publication, particular scrutiny will be placed on the degree of novelty and significance of the research and the extent to which it adds to existing knowledge in separation science.”

- Aims and Scope, *Journal of Chromatography A*

なぜ論文を書くのか？

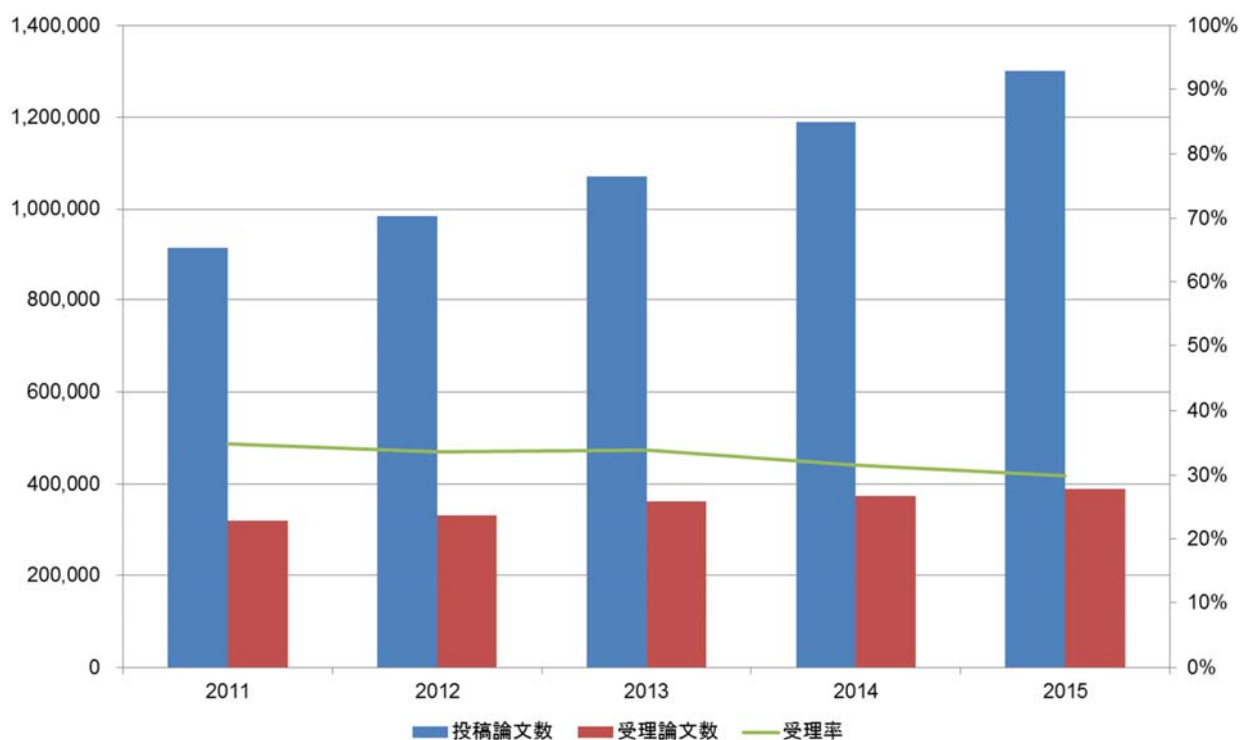
研究者個人の観点から



論文は研究者としてのパスポート

英語を公用語・準公用語等とする54カ国の総人口21億人は
日本人口の約17倍

エルゼビアへの投稿論文数の増加



5 year CAGR* (2011-2015)

8.27%

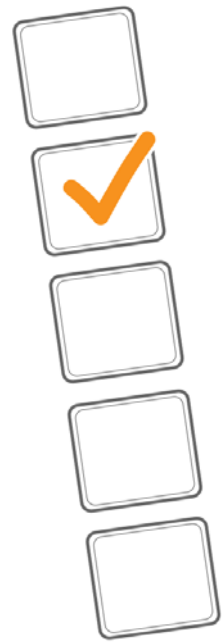
4.23%

* CAGR (Compound Average Growth Rate) 年平均成長率

説得力のある原稿とは？

- メッセージが明確で、有用で、関心をそそる
- 論理的に記述され、構築されている
- 査読者とエディターが容易に意味を把握できる

エディターと査読者は忙しい
時間を節約するために読みやすく



先行研究を調査する (Scopusを例に)

Scopusとは？

世界最大規模の収録範囲 全分野・各種文献タイプを網羅

- ・ 逐次刊行物22,000タイトル、会議録90,000イベント、書籍130,000タイトル
- ・ 6,500万レコード
- ・ グローバルなコンテンツ収集方針
 - 世界のあらゆる地域の105か国のタイトル
 - 40の本文言語
 - 日本国内のタイトルは400以上



ジャーナル

化学・物理・工学
6,969

査読誌 21,548
業界誌 322

ヘルスサイエンス
6,741

- オープンアクセス誌 3,573
- Articles in Press対応 5,144

ライフサイエンス
4,388

- MEDLINEを100%網羅

社会科学・人文科学
7,876

- 抄録 1823年～
- 参考文献 1996年～
(1970年まで遡って搭載中)

会議録

イベント数 90,000
論文数 769万

工学とコンピュータ科学を中心に収録

書籍

ブックシリーズ 539
- ボリューム数 30,000
- チャプター数 128万

単行本・百科事典 133,000
- チャプター数 110万

全分野を収録、
社会科学と人文科学に焦点

Source: May 2016 title list at <https://www.elsevier.com/solutions/scopus/content>

Scopus 最新情報、トレンドを調べる

① 検索の開始

研究テーマの最新情報、
トレンドを知りたい

The screenshot shows the Scopus search page with several key elements highlighted by orange boxes:

- Search Bar:** Contains the search term "ips cell" and a dropdown menu for search criteria.
- Search Filters:** Includes "検索範囲" (Search Range) with "全範囲" (All) selected, and "文献タイプ" (Document Type) with "全タイプ" (All) selected.
- Search History:** Shows previous searches like "2 TITLE-ABS-KEY (ips cell)" and "1 TITLE-ABS-KEY (stem cell)".
- Search Results:** Displays "4,794 件の検索結果" (4,794 search results) for the current query.
- Language Selection:** A button labeled "表示言語" (Display Language) with options for "Switch to English", "切换到简体中文", and "切换到繁體中文".

英語、中国語(簡体字・繁体字)インターフェースに切り替え
※ ログイン後に切り替えると、設定を記憶

Scopus 最新情報、トレンドを調べる

② 検索結果(内訳表示、グラフ化、フルテキストリンク)

文献検索結果

TITLE-ABS-KEY (ips cell) **検索式、ヒット数** 4,803 件の検索結果

初期状態では出版年順(新しい順)

並べ替え: 出版年 絞り用数 関連度 ...

項目を選択して絞り込み

出版年

- 2016 (329)
- 2015 (456)
- 2014 (510)
- 2013 (549)
- 2012 (479)

著者名

- Yamanaka, S. (72) >
- Akira, S. (37) >
- Daley, G.Q. (30) >
- Hochedlinger, K. (28) >
- Oikano, H. (28) >

分野

文献タイプ

ジャーナル名

キーワード

著者所属機関

国/地域

出版物タイプ

本文言語

内訳表示・絞り込み

検索結果の分析(グラフ化)

カスタマイズリンク(大学で設定)

出版社サイトのフルテキストへ

Scopusデモ (1)

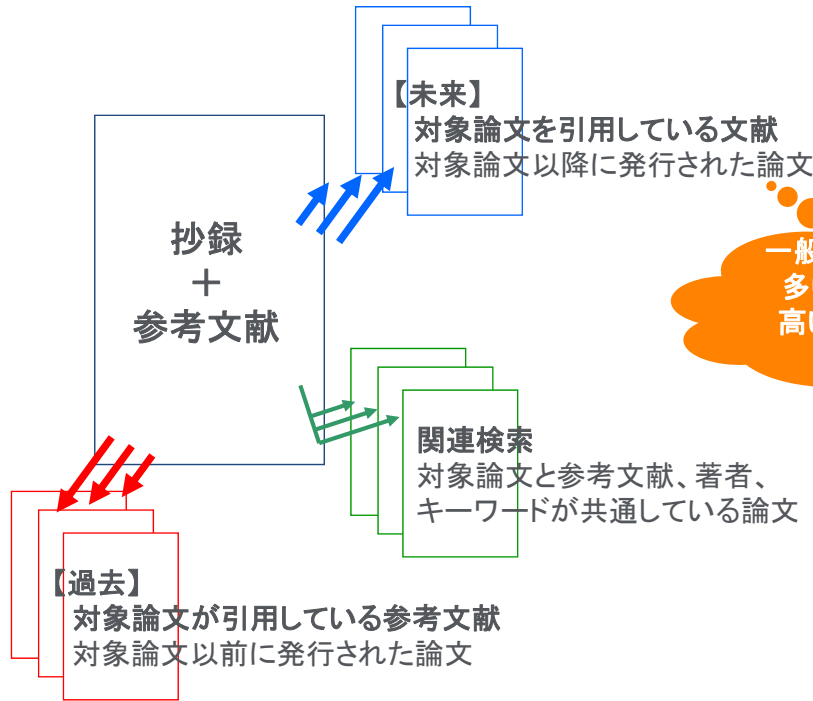
ブルガダ症候群(Brugada syndrome)に関する論文を検索する

- Scopus (www.scopus.com) にアクセスする
- [検索語...] 欄に検索語を入力し、**Q** をクリックする
 - Brugada syndrome
 - 論文タイトル、抄録、キーワード
- 検索結果一覧の左の [項目を選択して絞り込み] 欄で、出版年の傾向、発表論文の多い著者、ジャーナル、著者所属機関などを確認する
- 検索結果一覧の上の **検索結果の分析** をクリックする
- [検索結果の分析] 画面で、出版年、ジャーナルなどのトレンドを確認する
- 検索結果に戻る** リンクで検索結果ページに戻る
- 最新の論文のタイトルをクリックし、抄録+参考文献ページを表示する
- 抄録+参考文献ページで各種情報(タイトル、著者名、抄録、キーワード、参考文献など)を確認する
- フルテキストの入手方法を確認する
 - フルテキスト** リンクをクリックし、出版社の電子ジャーナルサイトでフルテキストを表示する
 - フルテキスト** をクリックし、他のフルテキスト入手方法を確認する

Scopus 重要論文を調べる

① 時間軸も追える強力な引用機能

被引用数が多い
重要な論文を見つけたい



一般に、引用される回数が多い論文がインパクトの高い重要な論文であるとみなされます

Scopus 重要論文を調べる

② 被引用数で並べ替える

文献検索結果

被引用数で並べ替え

TITLE-ABS-KEY (ips cell) 検索式の編集 検索式の保存 アラート設定 RSS設定

4,794 件の検索結果 参考文献由来の情報 | 49149 件の統計情報 | 検索結果の分析 並び替え: 出版年 **被引用数** 関連性

検索語を追加して絞り込み

項目を選択して絞り込み

絞り込む 除外する

出版年

- 2016 (323)
- 2015 (456)
- 2014 (510)
- 2013 (549)
- 2012 (479)

著者名

- Yamanaka, S. (72)
- Akira, S. (37)
- Daley, G.Q. (30)
- Hochedlinger, K. (28)
- Okano, H. (28)

分野

文献タイプ

ジャーナル名

キーワード

著者所属機関

国地域

出版物タイプ

本文言語

絞り込む 除外する

検索結果の内訳をエクスポート

項目	フルテキスト	被引用数
1 Induction of Pluripotent Stem Cells from Mouse Embryonic and Adult Fibroblast Cultures by Defined Factors	Takahashi, K., Yamanaka, S. 2006 Cell 126 (4), pp. 663-676	10238
2 Induction of Pluripotent Stem Cells from Adult Human Fibroblasts by Defined Factors	Takahashi, K., Tanabe, K., Ohnuki, M., (...), Tomoda, K., Yamanaka, S. 2007 Cell	8111
3 Generation of germline-competent induced pluripotent stem cells	Okita, K., Ichisaka, T., Yamanaka, S. 2007 Nature	2582
4 Reprogramming of human somatic cells to pluripotency with defined factors	Park, (...), L. 2008 Nature	1846
5 Generation of induced pluripotent stem cells without Myc from mouse and human fibroblasts	Nakatani, T., Tanabe, K., Yamanaka, S. 2008 Nature	1586
6 IPS-1, an adaptor triggering RIG-I- and Mda5-mediated type I interferon induction	Kawai, T., Takahashi, K., Sato, S., (...), Takeuchi, O., Akira, S. 2005 Nature Immunology	1304
7 Disease-Specific Induced Pluripotent Stem Cells	Park, I.-H., Arora, N., Huo, H., (...), Hochedlinger, K., Daley, G.Q. 2008 Cell	1271
8 Generation of mouse induced pluripotent stem cells without viral vectors	Okita, K., Nakagawa, M., Hiyonjima, H., Ichisaka, T., Yamanaka, S. 2008 Science	1201
9 Induced pluripotent stem cells generated from patients with ALS can be differentiated into motor neurons	Dimos, J.T., Rodolfa, K.T., Niakan, K.K., (...), Henderson, C.E., Eggan, K. 2008 Science	1180

被引用数をクリックすると、その論文を引用している文献リストを表示

Scopus 重要論文を調べる ③ 抄録+参考文献ページ

文献情報

被引用数 10238 回

被引用数+
この論文を引用している文献

文献引用アラート
この論文を引用した新規文献をE-mailで通知(要ログイン)またはRSSリーダーに配信

この論文と参考文献、著者、キーワードが共通している関連論文

論文評価指標
単純な被引用数に加えて、分野を補正した被引用のインパクトやベンチマーキング、Mendeleyへの保存回数、論文以外の媒体からの言及回数などを表示

この論文が引用している参考文献

被引用数 602 回

Scopusデモ (2)

エボラウイルス(ebola virus)に関する論文のうち被引用数が多いものを確認する、さらに最近のレビュー論文に限定してみる

1. ヘッダーの **検索** をクリックし、検索画面に戻る
2. [検索語...] 欄に検索語を入力し、**検索** をクリックする
3. 検索結果一覧の右上の [並べ替え:] から **被引用数** リンクをクリックし、引用された回数の多い順に並べ変える

>>> 最近のレビュー論文に限定してみたい。。。

4. 検索結果一覧の左の [項目を選択して絞り込み] 欄で、出版年 **2014 2015 2016**、文献タイプ **Review** をチェックし、**絞り込む** をクリックする
5. 被引用数が一番多い論文のタイトルをクリックし、抄録+参考文献のページを開く
6. 抄録+参考文献ページで、各種機能を確認する
 - 参考文献、各参考文献の被引用数
 - 被引用数 n 回
 - 参考文献を共有する関連文献
7. [論文評価指標] 欄の **すべての論文評価指標を表示** リンクをクリックし、各種指標を確認する

適切なジャーナルの選択

Empowering Knowledge

適切なジャーナルを選ぶ

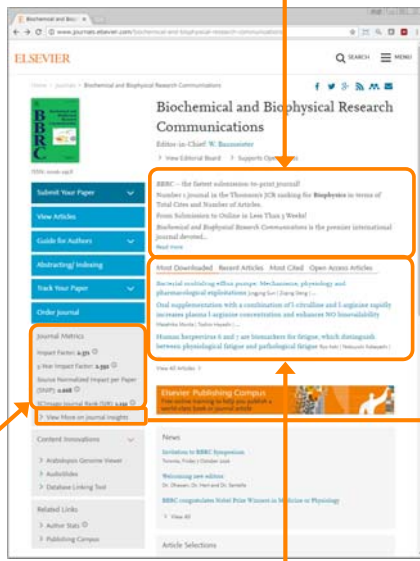
ターゲットとする読者に読んでもらえることが重要

- 候補となるいくつかのジャーナルをチェック
 - Aims and Scopeに研究内容が合っているか
 - アクセプトされた論文のタイプ
 - 読者層
 - 現在人気のあるトピック
 - 引用のされやすさ(インパクトファクターなど)
 - 出版までの期間はどれくらいか？
- 自分の論文の参考文献
- 先生や、先輩、同僚に相談を
- 同時に複数のジャーナルに原稿を投稿しないこと！



ジャーナルホームページ

Aims and Scope



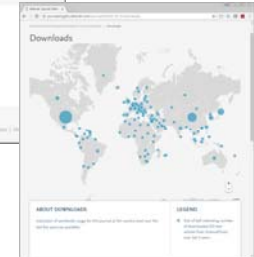
ジャーナル評価指標



出版スピード



読者/著者の国



ジャーナル評価指標
- Impact Factor
- SNIP
- SJR

最も読まれた論文
最近の論文
最も引用された論文
オープンアクセス論文

出版までの期間はどれくらいか？



Received 12 April 2016
Revised 12 July 2016
Accepted 26 July 2016
Available online 3 August 2016

原稿のタイプ

- フルペーパー／原著論文
 - 完了した研究の結果を発表する標準的な方法
- レター
 - 重要な新しい結果を早く、簡潔に伝える手段
 - フルペーパーより大幅に短い
- レビュー
 - 研究トピックに関する批判的総括
 - 通常、ジャーナルのエディターが依頼



インパクトファクター

- インパクトファクターは、1つのジャーナルに掲載された論文が平均して何回引用されたかを示します
- 1つの(あなたの)論文に関する指標ではありません
- 非常に被引用回数の多い論文もあれば、まったく引用されない論文もあります(インパクトファクターの高いジャーナルでも)

2014年のインパクトファクターの計算方法

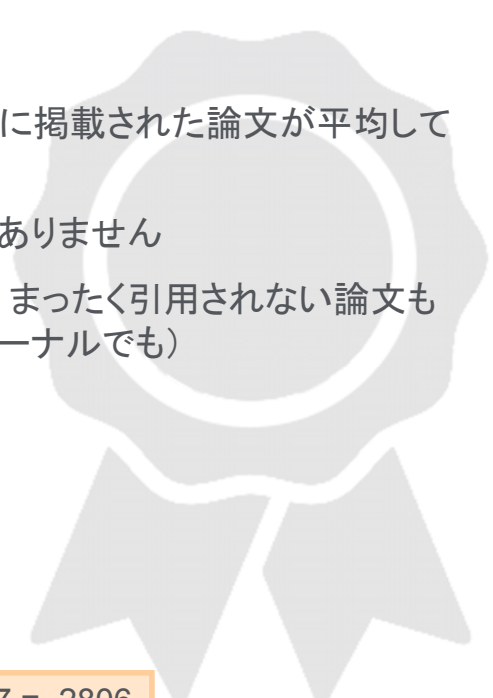
2012年と2013年に掲載された論文が
2014年に引用された延べ回数

$$1339 + 1467 = 2806$$

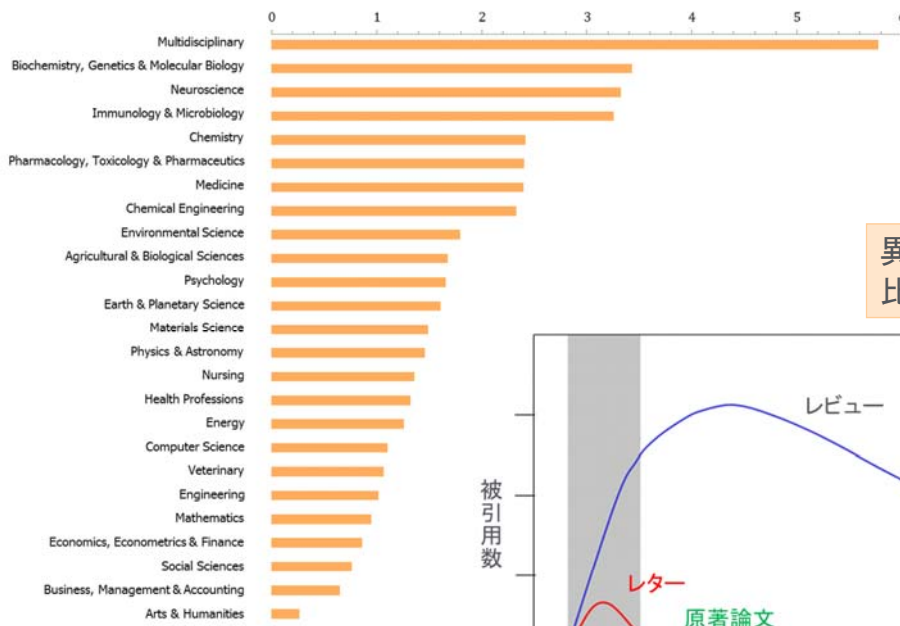
2012年と2013年に掲載された論文数

$$350 + 462 = 812$$

$$= 3.456$$

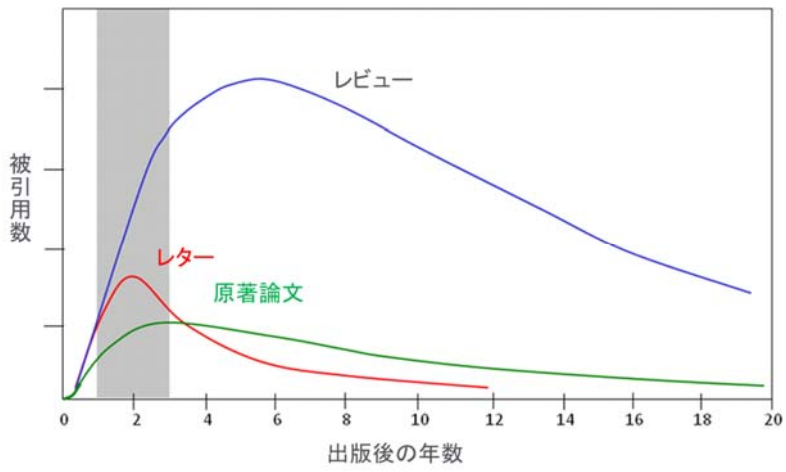


インパクトファクターを使用する際の注意点



異なる論文タイプのIFを比較することはできない

異なる分野のIFを比較することはできない



Scopus 投稿するジャーナルを選択する

① ジャーナル比較

検索結果の分析から

- SJR (SCImago Journal Rank)**
Google PageRankに類似したアルゴリズムを用いて引用に重みづけし、分野間の比較を可能にした指標
- IPP (Impact per Publication)**
1つの論文が平均で何回引用されたかを示す指標
- SNIP (Source Normalized Impact per Paper)**
IPPを基に、分野による引用のされやすさを考慮して被引用率を補正し、分野間の比較を可能にした指標
- 被引用数**
- 文献数**
- 被引用数0の文献(%)**
- レビュー論文(%)**

Scopusデモ (3)

ブルガダ症候群 (Brugada syndrome)に関する論文を投稿するのに適したジャーナルを選択する

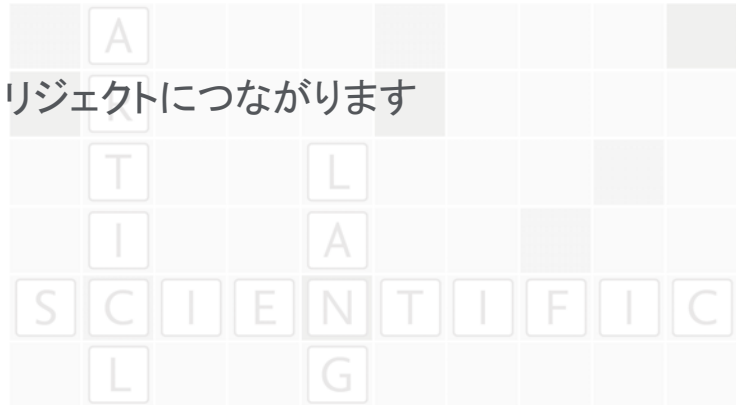
1. ヘッダーの [検索](#) をクリックし、検索画面に戻る
2. 検索履歴の検索結果件数のリンクをクリックする
TITLE-ABS-KEY (Brugada syndrome) [4,352 件の検索結果](#)
3. 検索結果一覧の上の [検索結果の分析](#) をクリックする
4. タブを選択し、論文数が多いジャーナルの論文数の経年変化を確認する
5. 必要に応じて、左側のジャーナルリストから、比較対象にしたいタイトルを追加・削除する
6. 画面右上の [ジャーナルを比較してSJR、IPP、SNIPを表示](#) をクリックする
7. ジャーナル比較画面で、ジャーナルの各種評価指標を確認する



科学英語

なぜ英語が重要なのか？

- 正しい英語を使用しなければ、エディターや査読者が著者の意図を理解できません
- 不適切な英語は、論文のリジェクトにつながります



Complaint from an editor:

"[This] paper fell well below my threshold. I refuse to spend time trying to understand what the author is trying to say. Besides, I really want to send a message that they can't submit garbage to us and expect us to fix it. My rule of thumb is that if there are more than 6 grammatical errors in the abstract, then I don't waste my time carefully reading the rest."

出版社は英語を訂正するか？

いいえ！
最善の形で原稿を提出するのは著者の責任です

... しかし、出版社は、通常、国際的なジャーナルの慣例に不慣れな著者のためのリソースを提供しています

英語のネイティブスピーカーに原稿をチェックしてもらうか、英文校正サービス(有料)も適宜利用しましょう。

例: エルゼビアの編集サービス

<http://webshop.elsevier.com/languageservices>

科学英語 – 概要

- 科学英語の要件
 - 正確 (Accurate)
 - 簡潔 (Concise)
 - 明確 (Clear)
 - 客観的 (Objective)
- 一般的な間違いに注意
 - 文の構造
 - 時制の間違い
 - 文法の間違い
 - 一貫性のなさ (米語と英語の混在など)

投稿するジャーナルの投稿規定で言語に関する指定を確認しましょう

科学英語 – 文

- 簡潔で短い文を書く 科学英語の平均的な文の長さは12~17語
- 1文では1つの情報を述べる
- 1文に複数の情報を入れない
- 関係する語は近くに置く
- 1文内の語順にも注意を払う (通常「既知の情報」→「未知の情報」の順)
 - **Avoid:** “This ocean basin was warmer during 2012 than any period found in the observational database, based on our analysis of recent ship-based measurements.”
 - **Write:** “Based on our analysis of recent ship-based measurements, this ocean basin was warmer during 2012 than any period found in the observational database.”
- 肯定形で書く
 - **肯定形:** “He usually came late.”
 - **否定形:** “He is not very often on time.”

科学英語 – 時制

- 既知の事実、仮説には現在時制：
"The average life of a honey bee is 6 weeks"
(ミツバチの平均寿命は6週間である)
- 実行した実験には過去時制：
"All the honey bees were maintained in an environment with a consistent temperature of 23 degrees centigrade..."
(すべてのミツバチを気温摂氏23度の環境に維持した)
- 実験の結果には過去時制：
"The average life span of bees in our contained environment was 8 weeks..."
(封じ込めた環境におけるハチの平均寿命は8週間だった)

一貫して正しい時制を使用することで、読者が論文を理解しやすくなります

科学英語 – 文法

- 能動態を使用して文を短縮
 - 受動態: "It has been found that there had been..."
(...であることが発見された)
 - 能動態: "We found that..."
(我々は...を発見した)
 - 受動態: "carbon dioxide was consumed by the plant..."
(二酸化炭素は植物によって消費された)
 - 能動態: "...the plant consumed carbon dioxide."
(植物が二酸化炭素を消費した)
- 省略形と略語についての注意
 - 省略形を使わない: "it's" "weren't" "hasn't"
 - 略語は、単位、確立されたもの(例: DNA)、論文内で明確に定義されたものだけを使用

科学英語 — その他のヒント(1)

- 冗長な単語やフレーズを使わない
 - due to the fact that → because or since
 - immediately apparent → apparent
 - in the case that → in case
 - and also → and
 - in order to determine → to determine
 - to try and determine → to determine
- However、In addition、Moreover などの副詞は最小限に抑える
- わかりきっている冗長的な語句は使いすぎない(例: In this report)
- 一般的でない語やフレーズを再チェック

ScienceDirectやGoogleでフレーズ検索することにより、一般的に使用されている表現かどうかをチェックできます(検索語を二重引用符 “ “ で囲む)

科学英語 — その他のヒント(2)

- 限定がない this を使用しない
 - **Avoid:** “We found this to be the most important facet of the ocean's dynamical response.”
 - **Write:** “We found this feature of the thermocline to be the most important facet of the ocean's dynamical response.”
- 多くの前置詞句を続けない
 - **Avoid:** “We ran a model simulation of the ocean for research into the evolution of the thermocline.”
 - **Write:** “We ran an ocean model simulation to conduct research into thermocline evolution.”
- 時代の変化で古くなってしまふ表現を避ける
 - “high resolution”
 - “new result”
 - “latest finding”

科学英語 — その他のヒント(3)

■ 主観的な形容詞を避ける

- **Avoid:** “We use a simple model of the ocean's thermocline to describe the dynamical response.”
- **Write:** “We use an idealized model of the ocean's thermocline based on approximating the continuous stratification with two immiscible fluid layers to describe the dynamical response.”

■ 曖昧な副詞を避ける

- **Avoid:** “The ocean model simulation ran quickly and cheaply.”
- **Write:** “The ocean model simulation required 1200 hours using 100 computer processors.”

■ 「信じる」という表現は避ける

- **Avoid:** “We believe this model result to be true.”
- **Write:** “We show through our analysis that this model result is consistent with the empirical evidence.”



論文の構造

論文の一般的な構造

- Title (タイトル)
- Abstract (抄録)
- Keywords (キーワード)

検索されやすさを意識しましょう
(情報豊か、魅力的、効果的)

本文(IMRAD)

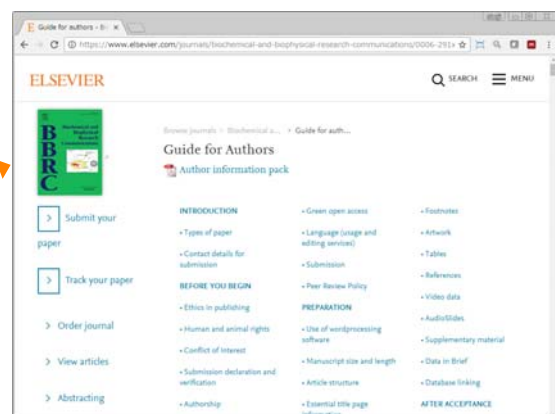
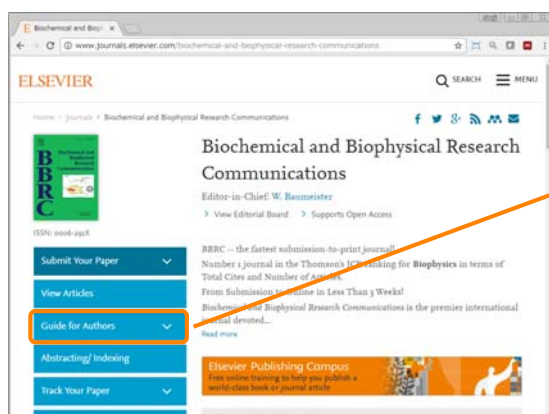
- Introduction (序文)
- Methods (方法)
- Results (結果)
- And
- Discussions (考察)

原稿はできる限り簡潔に！
それぞれに明確な役割があります

- Conclusion (結論)
- Acknowledgement (謝辞)
- References (参考文献)
- Supplementary Data (補足データ)

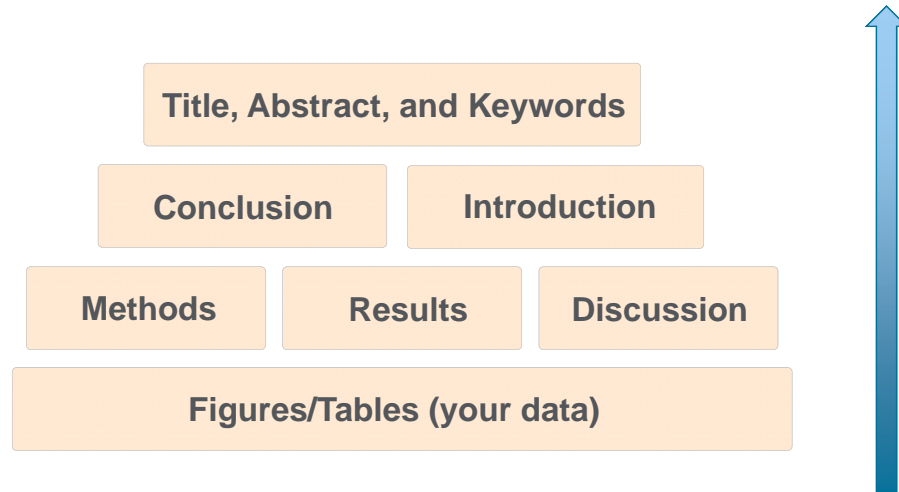
投稿規定を読む

- 投稿規定(Guide for Authors)は、Elsevier.comの各ジャーナルのホームページに公開されています。
- 初稿の時点から投稿規定に従ってください(テキストのレイアウト、語数、IMRAD、学術用語、図表、参考文献など)。最終的に、そのほうが自分にとってもエディターにとっても時間の節約になります。
- エディターと査読者は、下手な原稿に時間を費やすことを嫌います。



論文を執筆する順番

多くのエディターは以下の順番で論文を書くことを推奨しています



Title (タイトル)

効果的なタイトルを心がける

- 読者の注意を引く
- 可能な限り短い
- 原稿の内容を適切に表現している
- 情報豊かで、なおかつ簡潔
- 問題を特定している
- 特定の人にしかわからないjargonsや略語を含まない

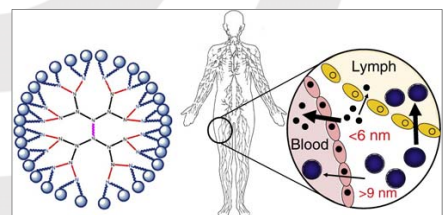
タイトルが適切でないと、ターゲットとする読者に読んでもらえません

オリジナルのタイトル	改訂したタイトル	コメント
Preliminary observations on the effect of Zn element on anticorrosion of zinc plating layer	Effect of Zn on anticorrosion of zinc plating layer	長いタイトルは、読者の気を散らします。「～に関する観察」、「～の性質」など、冗長的な言葉は省きましょう
Action of antibiotics on bacteria	Inhibition of growth of mycobacterium tuberculosis by streptomycin	タイトルは具体的であるべきです。「この情報をどうやって検索するだろう？」と自問してください

Abstract (抄録)

抄録・索引サービスに利用

- 論文の宣伝文です。単独の読み物として成立し、興味深く、理解しやすいように書きましょう。
- 正確かつ具体的に！
- できるだけ短く！
- わかりやすい抄録は、その後、論文が読まれるかどうかにか大きな影響を与えます。
- Structured Abstract が必要な場合もあります
- Graphical Abstract も活用しましょう



最後に書く。本文で書かれていること以外は書かないこと

Keywords (キーワード)

抄録・索引サービスに利用

- 原稿のラベルのようなもの
- 略語は、確立されたもののみ使用可(例: DNA)
- 一般的すぎる語、特殊すぎる語は避ける

どのようなキーワードを使用すべきかについては投稿ガイドを確認する

論文タイトル	キーワード
"Silo music and silo quake: granular flow-induced vibration"	Silo music, Silo quake, stick-slip flow, resonance, creep, granular discharge
"An experimental study on evacuated tube solar collector using supercritical CO ₂ "	Solar collector; supercritical CO ₂ ; solar energy; solar thermal utilization

Introduction（序文）

研究の重要性について読者を説得する

- 研究課題を簡潔に書く
- レビュー論文を含むいくつかの重要な論文を引用
- 以下を明確に記述する
 - 何が問題なのか？
 - 既存の解決策はあるか？
 - どの解決策が最良か？
 - 最大の限界は何か？
 - 何を達成したいか？
- 投稿するジャーナルの性質に合わせる

各論文にユニークな序文を書くこと。序文の使い回しはしない

Methods（方法）

どのように問題を研究したか

- 読者が実験を再現できるよう詳細な情報を含める
- 過去に発表した手続きを書かない
- 使用した装置や材料を明確にする

- 人体や動物での実験は、該当の倫理基準に従う必要があります
 - ヘルシンキ宣言の最新バージョン
 - 該当の(学内、国内、国際)動物実験ガイドライン

Results (結果)

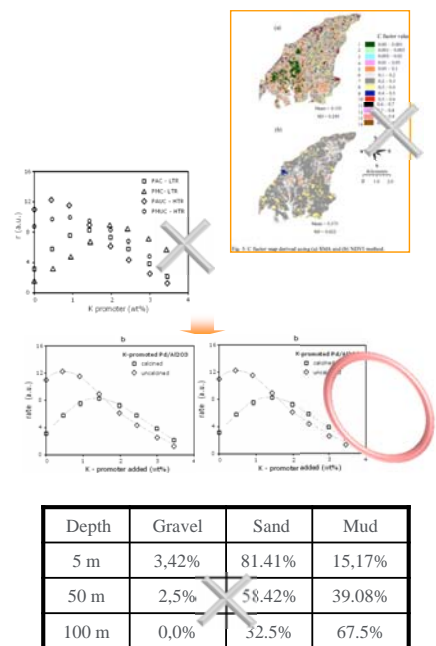
何を発見したか

- 考察に不可欠な重要なデータのみを含める
- 小見出しを付け、同じタイプの結果をグループ化する
- 明確で理解しやすいように
- 主な発見を強調する
- 予想外の結果を強調する
- 統計的な分析

Results (結果) – 図表

図表は結果を提示する最も効率的な方法

- 最も重要なデータにのみ使用する
- キャプションはそれだけで意味が通じるように詳細に書く
- 無駄な色遣いをしない
- グラフは線が込み合わないように
- 表は罫線もシンプルに
- 写真や画像にはスケールマーカーを付け、解像度を明確にする



Water depth (m)	Gravel (%)	Sand (%)	Mud (%)
5	3.4	81.4	15.2
50	2.5	58.4	39.1
100	0	32.5	67.5

Discussion (考察)

結果が何を意味するのか

- 結果の解釈
- 最も重要なセクション
- 考察は結果に対応させる
- すでに発表されている結果と自分の結果を比較

以下は避けるように注意が必要です：

- 結果で裏付けられる範囲を超えた主張
- 具体的でない表現
- 論文内でまだ定義または言及されていない新しい用語を持ち込むこと
- 想像に基づいた解釈

Conclusion (結論)

研究がその分野の知識レベルをどのように高めるか

- 研究の影響力を明確に書く
- 当該分野における自分の論文の正当性を証明する
- 将来の実験を示唆する

Acknowledgement (謝辞)

研究を手助けしてくれた人たちを認める

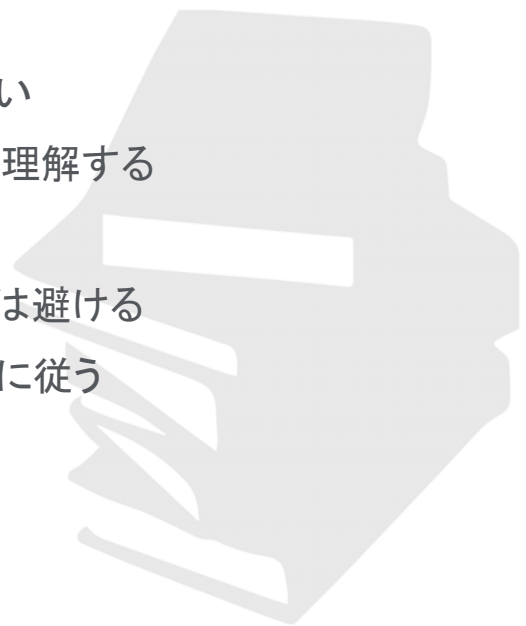
- アドバイザー
- 資金提供者
- 英文校正者
- 材料を寄付してくれた業者、など

References (参考文献)

研究の基礎となった主な文献を挙げる

- 必要以上に多くの参考文献を引用しない
- 参考文献として引用する資料は十分に理解する
- 過度な自己引用は避ける
- 同じ地域の文献を過度に引用することは避ける
- 投稿規定に指定されたスタイルに厳密に従う

Mendeley などの文献管理ツールを使うと便利です



Cover Letter(カバーレター)

エディターに直接意志を伝えるチャンス

- 原稿と一緒に提出
- ジャーナルにとって、あなたの原稿が特別である理由を述べる
- 特別なニーズを挙げる
 - 査読者の推薦／拒否
 - Conflict of interest(利益相反)

Cover Letterサンプル

Professor H. D. Schmidt
School of Science and Engineering
Northeast State University
College Park, MI 10000
USA

January 1, 2008

Dear Professor Schmidt,

Enclosed with this letter you will find an electronic submission of a paper entitled "Mechano-sorptive creep under compressive loading - a micromechanical model" by John Smith and myself. This is an original paper which has not been previously nor simultaneously in whole or in part been submitted anywhere else. Both authors have read and approved the final version submitted.

Mechano-sorptive is sometimes denoted as accelerated creep. It has been experimentally observed that the creep of paper accelerates if it is subjected to a cyclic moisture content. This is of large practical importance for the paper industry. The present manuscript describes a micromechanical model on the fibre network level that is able to capture the experimentally observed behaviour. In particular, the difference between mechano-sorptive creep in tension and compression is analysed. John Smith is a PhD-student who within a year will present his doctoral thesis. The present paper will be a part of that thesis.

Three potential independent reviewers who have excellent expertise in the field of this paper are:

Dr. Fernandez, Tennessee Tech, email1@university.com
Dr. Chen, University of Maine, email2@university.com
Dr. Singh, Colorado School of Mines, email3@university.com

I would very much appreciate if you would consider the manuscript for publication in the *International Journal of Science*.

Sincerely yours,

A. Professor

著者全員からの承認

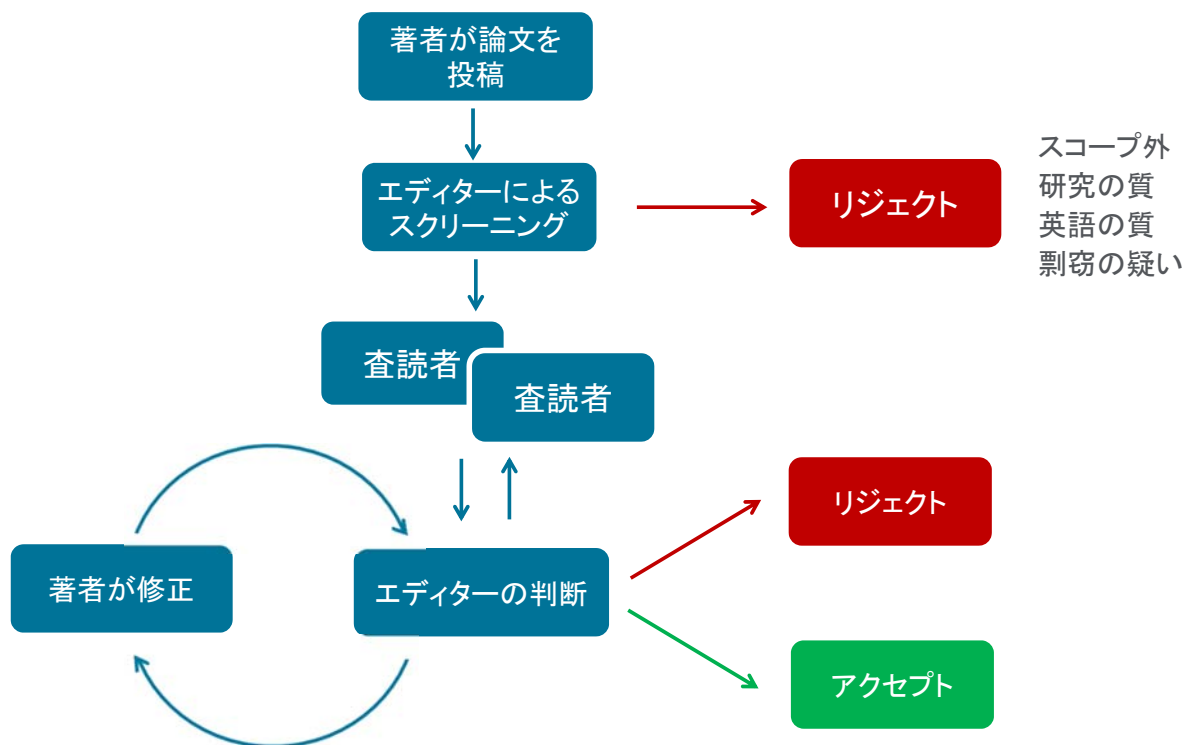
研究の重要性の説明

査読者の推薦

論文投稿後のプロセス

Empowering Knowledge

論文投稿後のプロセス



査読とは？

- 出版前に同じ分野の専門家によってチェックを行うことによって、論文の質を保証するためのシステム
- 科学(science)を推論(speculation)や意見(opinion)から区別する
- 研究の妥当性(validity)、重要性(significance)、オリジナリティ(originality)を判断する
- 論文の質を改善する
- 出版すべきかどうかについての推薦
 - accept / minor revision / major revision / reject



査読者のチェックポイント

- 新規性とオリジナリティがあるか？
- 仮説は重要で明確であるか？
- 序文、方法、データ分析、結果、議論、結論の強さ / 弱さ
- 原稿全体の一貫性
- 文章と図表がわかりやすいか？
- 倫理（動物 / 人間）
- タイトルと抄録は内容を反映しているか？
- 参考文献が正しく引用されているか？



修正論文の作成

- 採択される前にほとんどの論文は修正を求められる
- エディターと査読者は論文のブラッシュアップを意図している。感情的にならないこと！
- 「Minor Revision」は必ずしも「Accept」になるとは限らない
- 査読者から指摘された点のみではなく、論文全体を見直して修正論文を書く

査読者への回答書

- 他の研究者との議論の場と捉え、詳細な回答書を準備する
- 査読者からのコメントに対し、1つずつ回答を用意する
- 変更した箇所を明確に記す
- 査読者の意見に同意できない点については反対意見を述べてもよいが、丁寧にしっかりした証拠を提供する

発表した論文のプロモーション

Empowering Knowledge

出版後に論文を読んでもらうためにできること

Toshinori Mori @muegamma · 10月9日
 MEG実験が先頭を切って現在日米欧各地で精力的に推進されているミュオンを使った最先端の研究についてレビューを書きました。11/26まで無料ダウンロード可。(といっても専門家向けなので...ぜひ学生に読んでもらいたい)
authors.elsevier.com/a/1PqFx_3LP0ZW...

ScienceDirect の Share Link
 (50日間無料アクセス)

ScienceDirect の AudioSlides



ソーシャルメディア

データレポジトリとのリンク

Mendeleyプロフィールページ

Scopus 著者で検索する

① 著者識別機能 (様々な表記を 1 著者として名寄せ)

他の研究者や自分の論文の影響を知りたい

Scopus 検索 収録誌一覧 アラート リスト ヘルプ ユーザー登録 ログイン

著者検索

文献検索 | 著者検索 | 所属機関検索 | 詳細検索

amano hiroshi

所属機関... 御 University of Toronto

完全一致のみを表示

ORCID... 御 1111-2222-3333-4444

同一著者による論文をグループ化するために、Scopusは著者識別機能によって著者の名寄せを行っています。名寄せには、所属機関、住所、分野、ジャーナル名、出版年、引用回数、共著者の情報を用いたアルゴリズムが使用されています。文献中の情報が不十分な場合は、同じ著者の論文が複数の著者IDに分かれて表示される可能性があります。最初の結果には、複数の文献がある著者だけが表示されます。Scopus著者識別機能について

著者検索結果

著者の姓 "amano", 著者の名 "hiroshi" 検索式の編集

23 / 44 件の検索結果 文献が 1 件だけのプロフィールを表示 | Scopus著者識別機能について

完全一致のみを表示 すべて 文献を表示 引用分析を表示 著者プロフィールの統合を依頼

項目を選択して絞り込み

絞り込む 除外する

ジャーナル名

- Japanese Journal Of Applied Physics (4)
- Journal Of Nuclear Science And Technology (4)
- Applied Physics Express (3)
- Journal Of Crystal (3)

1	Amano, Hiroshi	690 Physics and Astronomy ; Materials Science ; Engineering ; ...	Nagoya University	Nagoya	Japan
2	Amano, Hiroshi Amano, H.	70 Agricultural and Biological Sciences ; Environmental Science ; Biochemistry, Genetics and Molecular Biology ; ...	Kyoto University	Kyoto	Japan

著者プロフィールへ

複数の著者プロフィールを1つにまとめた場合は、チェックして著者フィードバックフォームを使用 → 詳細はクイックレファレンスガイド p.7

Scopus 著者で検索する

② 著者プロフィール

Author details

Amano, Hiroshi
Nagoya University, Center for Integrated Research of Future Electronics (CIRFE), Nagoya, Japan
著者ID: 35397740400

文献数: 690
被引用数: 合計 18520 回 (11677 件の文献による被引用)
h-index: 62
共著者: 150 (最大 150 人までの共著者を表示)
分野: Physics and Astronomy, Materials Science さらに表示

690 件の文献 | 11677 件の文献による被引用 | 150 人の共著者

690 件の文献 検索結果の形式ですべてを表示

すべてをエクスポート | すべてのリストに保存 | 文献アラートを設定 | 文献RSSを設定

Emission Characteristics of InGaN/GaN Core-Shell Nanorods Embedded in a 3D Light-Emitting Diode Jung, B.-O., Bae, S.-Y., Lee, S., (...), Honda, Y., Amano, H. 2016 Nanoscale Research Letters 0 Open Access

フルテキスト Improved crystal quality of substrates using AlN/CrO₂ thin layers on GaN substrates for light-emitting diodes Amano, H., Akita, Y., Yamamoto, T., ... 2016 Journal of Crystal Growth 0

フルテキスト Controlled morphology of regular GaN microrod arrays by selective area growth with HVPE Lekhal, K., Bae, S.-Y., Lee, H.-J., (...), Honda, Y., Amano, H. 2016 Journal of Crystal Growth 0

フルテキスト Deep level study of Mg-doped GaN using deep level transient spectroscopy and minority carrier transient spectroscopy Duc, T.T., Pozina, G., Amano, H., (...), Janzén, E., Hemmingsson, C. 2016 Physical Review B - Condensed Matter and Materials Physics 0

著者引用アラート この著者の論文を引用した新規論文をE-mailで通知 (要ログイン)

検索アラート この著者による新規論文をE-mailで通知 (要ログイン)

修正依頼は著者フィードバックフォームから → 詳細はクイックレファレンスガイドp.7を参照

この著者をフォロー
引用アラートを設定
ORCIDに追加
著者プロフィールの修正を依頼
Export profile to SciVal

各種分析機能

著者履歴
出版期間: 1982 - Present
参考文献: 5126
出版物履歴:
International Journal of Modern Physics B 文献を表示
Nuclear Instruments and Methods In Physics Research 文献を表示
Journal of the Electrochemical Society 文献を表示
さらに表示

この著者が発表した文献リスト
この著者の文献を引用している文献リスト
共著者リスト

Scopus 著者で検索する

③ researchmapとの連携

SCOPUSからの論文取り込み

SCOPUSから、あなたの論文を取り込むことができます。

著者検索 | 論文検索

著者の姓 Arai | 著者の名 Noriko | 所属 National Institute of Informatic |

日本語CVIに取り込む 英語CVIに取り込む

論文 | 総件数: 1件

Arai, Noriko ID: 7201813902
Research Organization of Information and Systems National Institute of Informatics, Tokyo, Japan

【収録論文: 30件】 [全て表示](#)

- World history ontology for reasoning truth/ falsehood of sentences: Event classification to fill in the gaps between knowledge resources and natural language texts
- The most uncreative examinee: A first step toward wide coverage natural language math problem solving
- Mathematics by machine

| 総件数: 1件

SCOPUSからの論文取り込み

SCOPUSから、あなたの論文を取り込むことができます。

著者検索 | **論文検索**

論文タイトル researchmap | キーワード |

ジャーナル名 | 会議名 |

日本語CVIに取り込む 英語CVIに取り込む

論文 | 総件数: 1件

Researchmap opening the door to the world of science 2.0
Noriko Arai, Ryuji Masukawa

Proceedings of the 13th IASTED International Conference on Computers and Advanced Technology in Education, CATE 2010 166-171 2010年12月



Our project team launched a new web service, Re...

| 総件数: 1件

デモ(3)

ノーベル生理学医学賞受賞者の大隅良典(Ohsumi, Yoshinori)教授を検索し、発表論文を確認する

1. ヘッダーの **検索** をクリックし、検索画面に戻る
2. **著者検索** タブをクリックする
3. [著者の姓...] 欄と [著者のイニシャルまたは名...] 欄に入力し、 をクリックする

4. 検索結果一覧から Osumi, Yoshinori (Tokyo Institute of Technology) を選択する
5. 著者プロフィールページで各種情報を確認する
 - 文献数、被引用数、分野など
 - この著者が発表した文献リスト、この著者を引用している文献リスト、共著者リスト
 -  **著者分析**
 -  **引用分析**

出版倫理

Empowering Knowledge

出版倫理に関するミスコンダクト

- 研究の不正行為
 - 偽造 (Fabrication) : 研究データの捏造
 - 改ざん (Falsification) : 研究データの意図的な操作
- 出版の不正行為
 - 剽窃 (Plagiarism)
 - 利益相反 (Conflict of Interest)
 - オーサーシップ (Authorship)
 - 二重投稿 (Simultaneous Submission)
 - サラミ法 (Salami Slicing) : 論文の分割



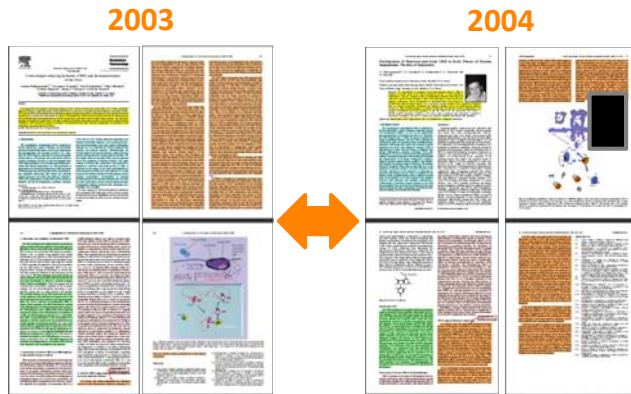
M. Errami & H. Garner
A tale of two citations
Nature 451 (2008): 397-399

論文の撤回 (Retraction)

剽窃 (Plagiarism)


- エディターも査読者もチェック
- 自己剽窃にも注意

多くの出版社が剽窃検出サービス CrossCheck を利用しています。



画像の操作についてのガイドライン

オリジナルの図の情報を不明瞭にしたり、除去しない範囲で




Brightness

Contrast

Colour Balance

Nonlinear adjustments



Enhanced

Obscured

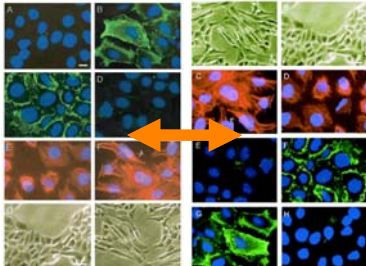
Moved

Removed

Introduced

図のキャプションに明記すること

Am J Pathol, 2001 Life Sci, 2004



オーサーシップ (Authorship)

- 著者であることの意味
 - 発表された研究内容に実質的かつ知的な貢献を果たした者
 - 著者であることは名誉なことですが、責任も伴います
 - 誰を著者とするか、および著者の順序に関しては、研究計画を作成する前に決めておくべきです
- 著者に関する一般原則
 - 第一著者
 - ✓ データの収集や分析を指揮監督し、結果を適切に表現・解釈した人
 - ✓ 論文原稿を作成し、ジャーナルに投稿する者
 - コレスポンディング・オーサー
 - ✓ 第一著者、またはその機関での上位の著者
- 避けること
 - ゴースト・オーサーシップ
 - ✓ 研究に相応の貢献をした人を除外すること
 - ギフト・オーサーシップ
 - ✓ 研究に相応の貢献をしていない人を含めること

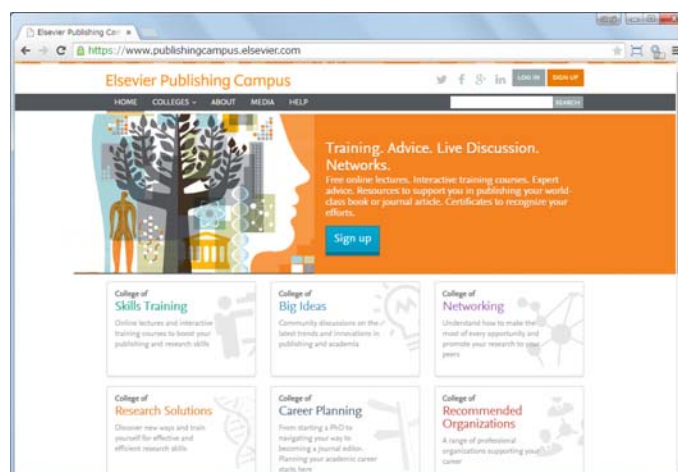
最後に

- 投稿規程は細部まで確認する
- 投稿するジャーナルの最新論文は最高のお手本
- 先輩、出版社、英文校正サービス等を積極的に利用する
- エディターには自分の意見を臆さず伝える
- あきらめない、Reject から学ぶことは多い



著者向けページ

- エルゼビア本社(英語)
<http://www.elsevier.com/authors>
- エルゼビア・ジャパン(日本語)
<http://www.elsevier.com/jp/authors>
- 著者向けのオンラインリソース集
<http://www.publishingcampus.elsevier.com>





無料の文献管理ツール & 研究者ネットワーク
www.mendeley.com

Empowering Knowledge

本日の内容 Mendeley

- Mendeleyとは？
 - 文献の追加
 - デスクトップ版
 - ウェブ版
 - デスクトップ版とウェブ版の同期
 - オンラインカタログとSuggest
 - 文献の追加方法のまとめ
 - 文献の利用(ライブラリの管理、PDFビューア、PDFの管理)
 - Wordへの参考文献の挿入
-
- 個人プロフィール、研究者ネットワーク
 - グループの利用



Mendeleyとは？

① 研究活動の様々な場面を支援

卒業後も使い続けることができます

個人プロフィールを公開する



様々な方法で文献を追加する



参考文献を自動的に作成する



文献を整理し、いつでもどこでも利用する

他の研究者と文献を共有する



文献を読み、注釈を付ける



Mendeleyとは？

② デスクトップ版とウェブ版を組み合わせ使用

ウェブデータベースとの連携
データのバックアップ

ウェブ版



同期



デスクトップ版
Windows



デスクトップ版
Mac



デスクトップ版
Linux



モバイル版
iOS / Android



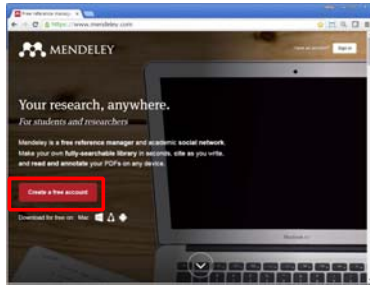
PDFの管理
参考文献リストの作成

いつでも
どこでも

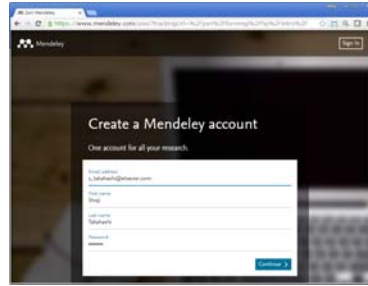
Mendeleyとは？

③ ユーザー登録とデスクトップ版のインストール

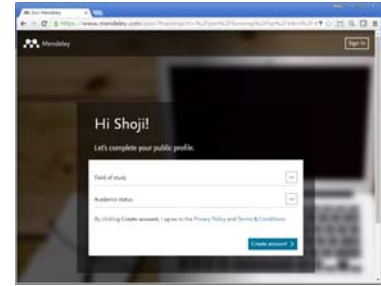
- Mendeleyを利用するにはユーザー登録が必要です。ScienceDirect/Scopusのユーザー名も利用できます。



ステップ1: <http://www.mendeley.com> から [Get a free account]



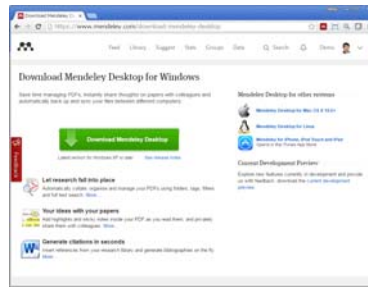
ステップ2: E-mail、First name、Last name、Passwordを入力し、[Continue>]



ステップ3: 分野と肩書を選択し、[Create account>]



ステップ4: 所属機関を入力・選択し、[Save and continue>] または [Skip this step>]



ステップ5: デスクトップ版のプログラムをダウンロードしてインストール (管理者権限が必要)

<http://www.mendeley.com/download-mendeley-desktop>

デモ(1)

本日のデモで使用するプログラム:

- Mendeleyデスクトップ版 (講師はWindows版を使用)
- Mendeleyウェブ版 (講師はウェブブラウザとしてChromeを使用)
- Word

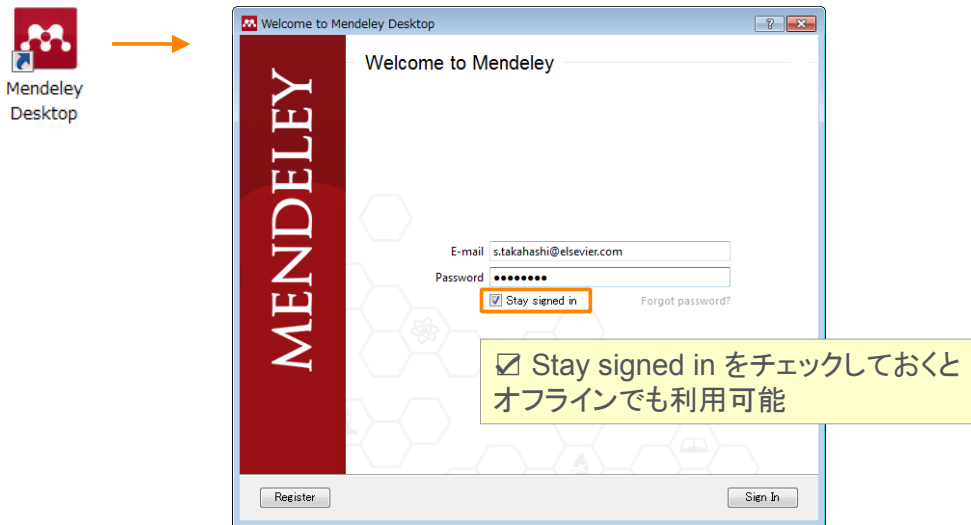
A. ユーザー登録し、デスクトップ版をインストールする

1. ウェブブラウザで <http://www.mendeley.com> にアクセス
2. [Create a free account] をクリック
3. E-mail、First name、Last name、Password を入力し、[Continue >] をクリック
4. Field of study、Academic status を選択し、[Create account>] をクリック
5. Enter your current institution? で所属機関を入力・選択し、[Save and continue >] をクリック (または [Skip this step >] をクリック)
6. デスクトップ版のプログラムをダウンロードし、インストールを実行

文献の追加: デスクトップ版

① デスクトップ版の起動

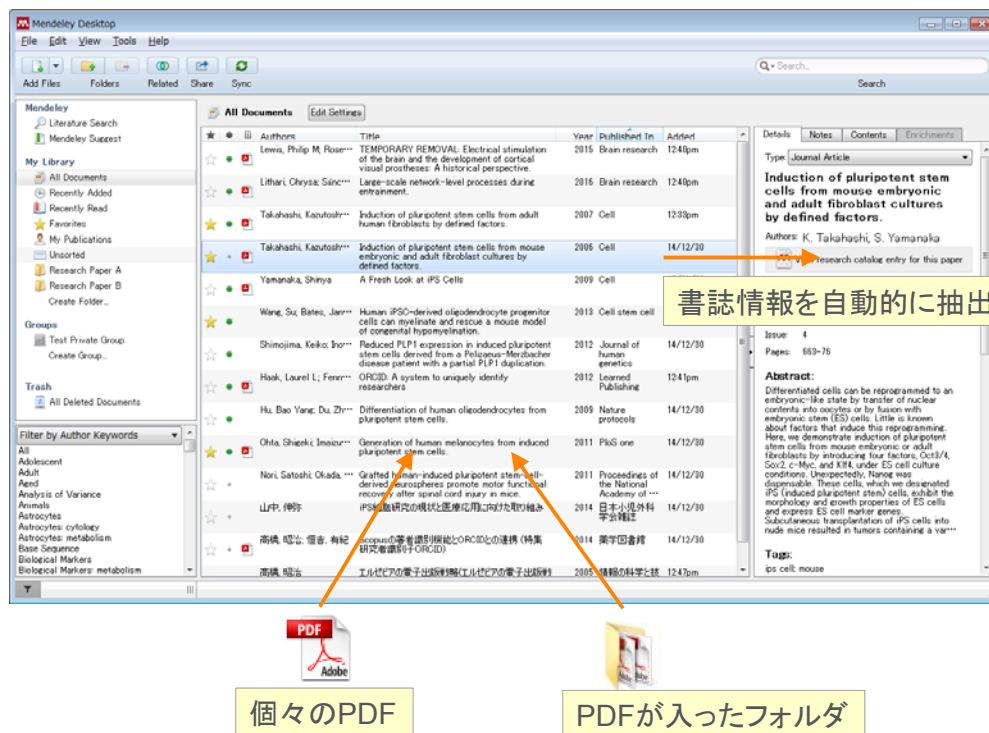
- デスクトップ版を起動し、E-mail、Passwordを入力してサインイン



文献の追加: デスクトップ版

② PDFのインポート、書誌情報の自動抽出

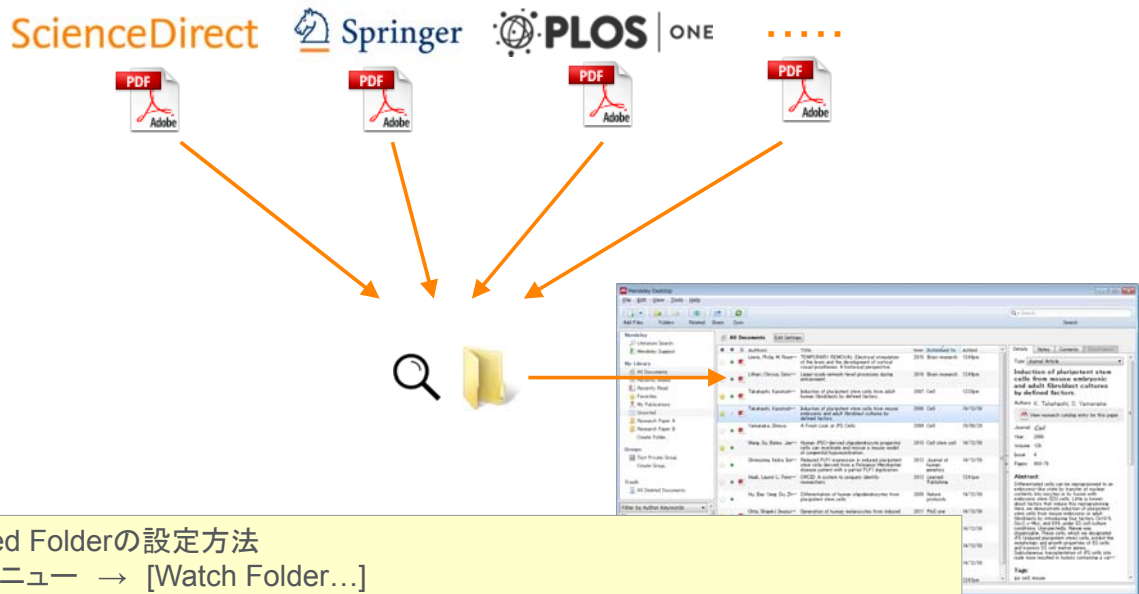
- 個々のPDFやフォルダをドラッグ & ドロップするだけで書誌情報を自動抽出



文献の追加: デスクトップ版

③ Watched Folderの利用

- PDFの保存フォルダを指定することによって自動的にMendeleyにインポートすることが可能



Watched Folderの設定方法

[File] メニュー → [Watch Folder...]

または

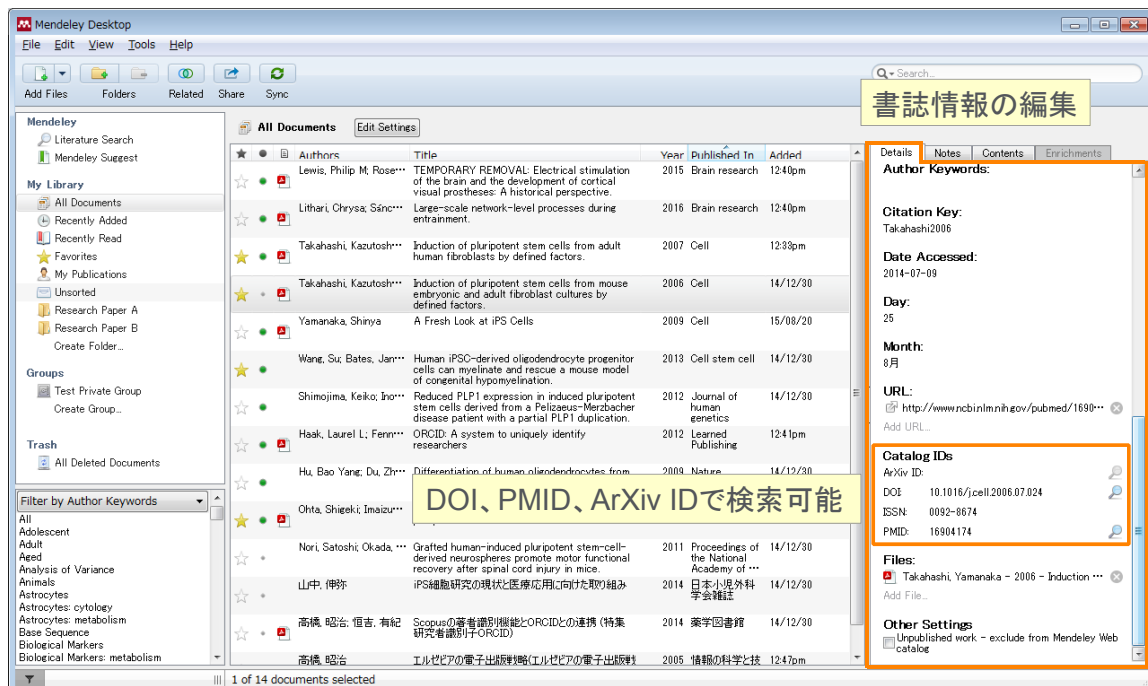
Windows: [Tools] メニュー → [Options] → [Watched Folders] タブ

Mac: [Mendeley Desktop] メニュー → [Preferences...] → [Watched Folders] タブ

文献の追加: デスクトップ版

④ 書誌情報の編集

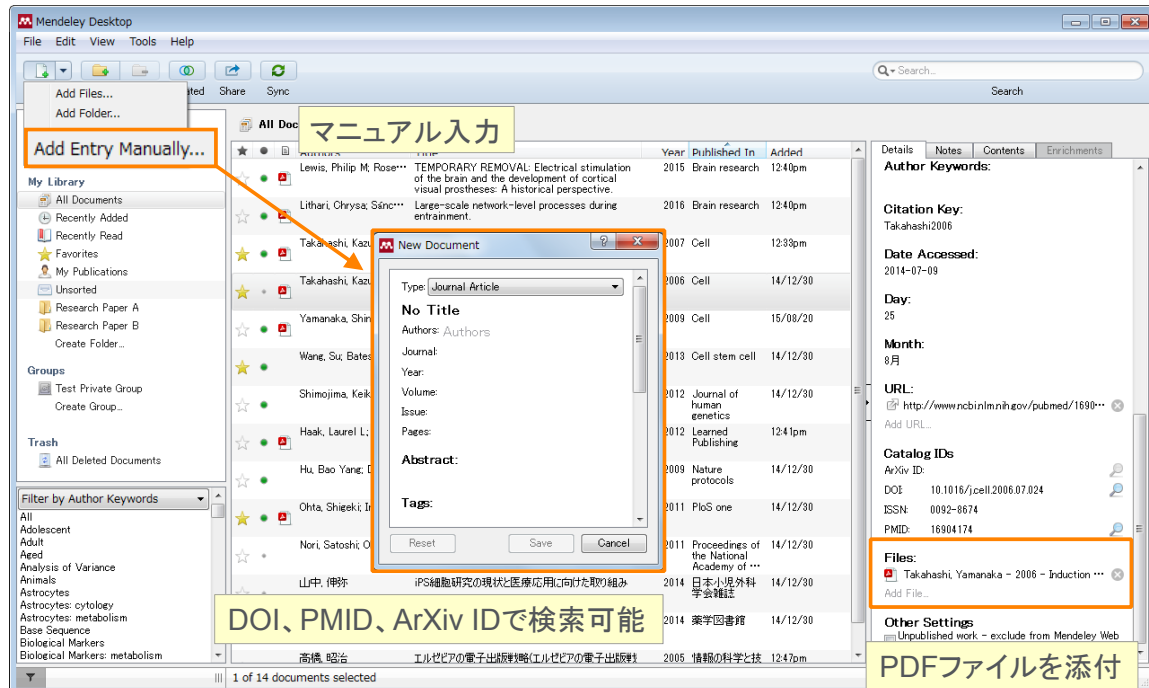
- 抽出された書誌情報が不完全な場合はマニュアルで編集できます



文献の追加: デスクトップ版

⑤ マニュアル入力とPDFファイルの添付

- 書誌情報をマニュアルで入力してからファイルを添付

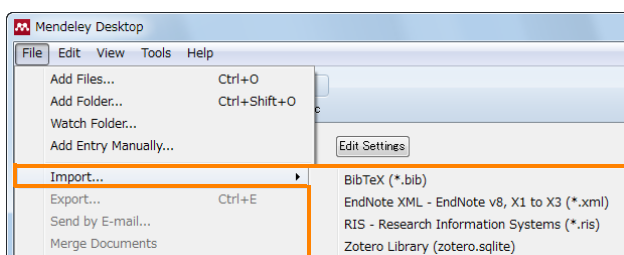


文献の追加: デスクトップ版

⑥ BibTeX / XML / RIS形式のファイルのインポート

- 他のデータベースや文献管理ツールからBibTeX / XML / RIS形式でエクスポートしたファイルをインポートすることができます

[File] メニュー > [Import...]



- 他の文献管理ツールからエクスポートする方法
 - EndNote の場合
 - [File] メニューから [Export...] を選択
 - ファイル形式として XML (*.xml) を選択
 - EndNote Basic (Web) の場合
 - [フォーマット] タブから [エクスポート] を選択
 - [レファレンス] ドロップダウンリストからエクスポートするレコードを選択
 - [スタイル] ドロップダウンリストから [RefMan (RIS) Export] を選択
 - RefWorks の場合
 - [レコード] メニューから [エクスポート] を選択
 - ファイル形式として (EndNote, Referece Manager, ProCite) を選択

PDFを移行する場合は、
先に書誌情報を移行した後で
PDFをインポートしてください

デモ(2)

A. デスクトップ版を起動する

1. デスクトップ上にあるMendeley Desktopのアイコンをクリックして起動
2. E-mail と Password を入力し、[Sign In] をクリック

B. PDFをデスクトップ版に取り込む

1. PDFを中央欄にドラッグ&ドロップ
2. PDFが入ったフォルダを中央欄にドラッグ&ドロップ
 - 英語論文: 右欄に書誌情報が自動的に取り込まれることを確認
 - 英語論文: 書誌情報が不完全な場合にPMIDで検索できる例を紹介
 - 日本語論文: 書誌情報が不完全である例を紹介 (後で医中誌から書誌情報を取り込む方法を紹介)

C. Watched Folderを使ってPDFを取り込む

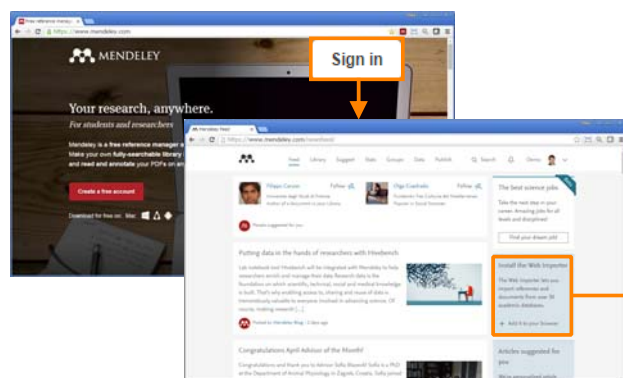
1. 以下の方法でWatched Folderを指定
 - Windows/Mac共通: [File] メニュー → [Watch Folder...]
 - Windowsの場合: [Tools] メニュー → [Options] → [Watched Folders] タブ
 - Macの場合: [Mendeley Desktop] メニュー → [Preferences...] → [Watched Folders] タブ
2. 電子ジャーナルのPDFをWatched Folderにダウンロード
 - PDFおよび書誌情報が自動的に取り込まれたことを確認

文献の追加: ウェブ版

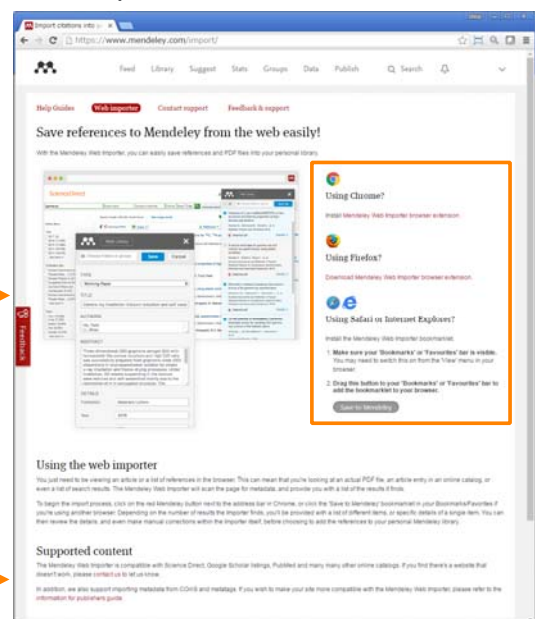
① Web Importerのインストール(1)

- Web Importerを使うと、各種データベースから文献を取り込むことができます

ウェブ版から



Web Importerインストールページ



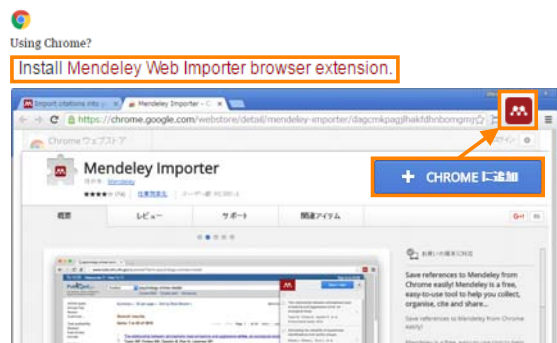
デスクトップ版から



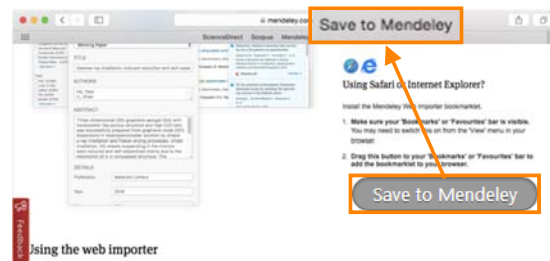
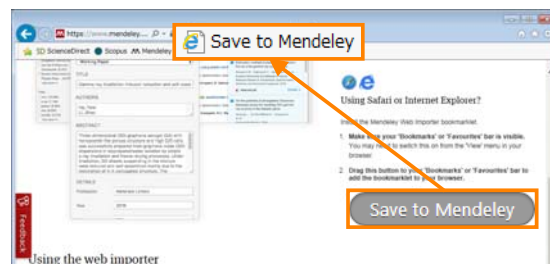
<http://www.mendeley.com/import>

文献の追加: ウェブ版 ② Web Importerのインストール(2)

Chrome、FireFox:
ブラウザエクステンションをインストール

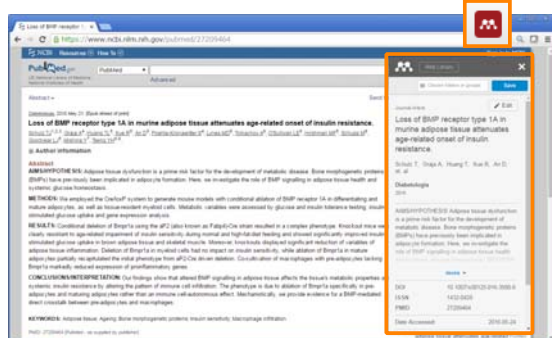


Internet Explorer、Safari:
ブックマークレットをツールバーにドラッグ & ドロップ
※ Safari は近日中にブラウザエクステンションに切り替わる予定



文献の追加: ウェブ版 ③ Web Importerによる文献のインポート (Chrome、FireFox)

- 論文ページ、検索結果ページから利用できます (論文ページにのみ対応している場合あり)



PubMed (論文ページ)



PubMed (検索結果ページ)



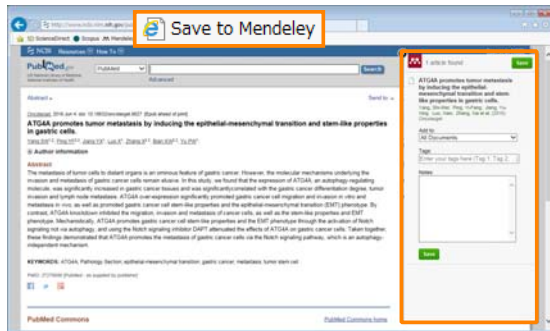
PLoS One (論文ページ)



文献の追加: ウェブ版

④ Web Importerによる文献のインポート (Internet Explorer, Safari)

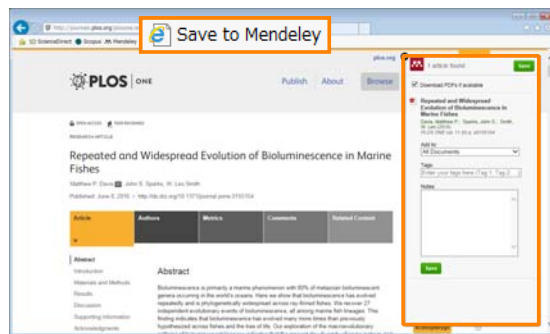
- 論文ページ、検索結果ページから利用できます (論文ページにのみ対応している場合あり)



PubMed (論文ページ)



PubMed (検索結果ページ)

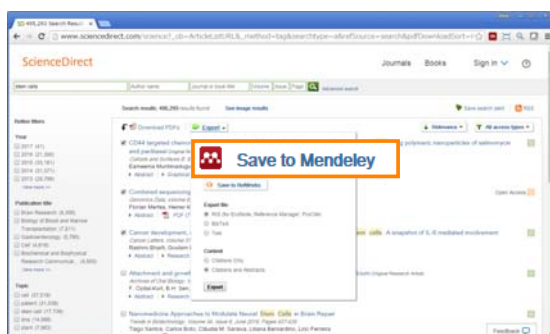


PLOS One (論文ページ)

文献の追加: ウェブ版

⑤ Mendeleyへのダイレクトエクスポート

- 製品内にMendeleyへのダイレクトエクスポートのメニューが用意されている場合があります



ScienceDirect



Scopus



CiNii



医中誌Web

文献の追加: ウェブ版

⑥ My Library

- 追加した文献は [Library] タブで確認できます

デスクトップ版My Libraryの
基本的な機能を利用可能

The screenshot shows the Mendeley web interface. The 'Library' tab is selected, displaying a list of documents. A yellow callout bubble points to the 'Library' tab. A yellow box highlights the 'Add to' button and a PDF file upload icon.

PDFファイルを添付

デモ(3)

A. ウェブ版にサインインし、Web Importerをインストールする

- ウェブブラウザで <http://www.mendeley.com> にアクセス
- 右上の [Sign in] から E-mail と Password を入力し、サインイン
- ホームページ(Feedページ)右側の [Install the Web Importer] をクリック
- Web Importerをインストール
 - Chrome、FireFoxの場合: ブラウザエクステンションをインストール
 - Internet Explorer、Safariの場合: ブックマークレットをツールバーにドラッグ & ドロップ

B. Web Importerを使って文献を追加する

- 論文ページまたは検索結果ページでWeb Importerを実行
 - Chrome、FireFoxの場合: ブラウザエクステンションのアイコンをクリック
 - Internet Explorer、Safariの場合: ツールバーの [Save to Mendeley] をクリック
- ポップアップウィンドウが現れるので、必要な文献を保存
- ウェブ版の [Library] をクリックして文献が取り込まれたことを確認

注: 論文ページのみで機能し、検索結果ページではうまくいかない場合があります

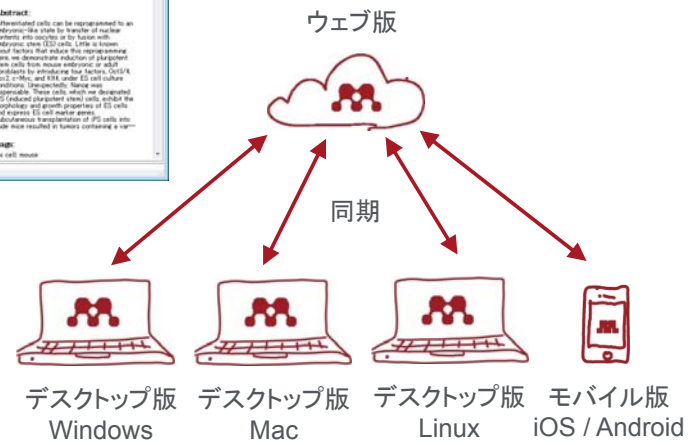
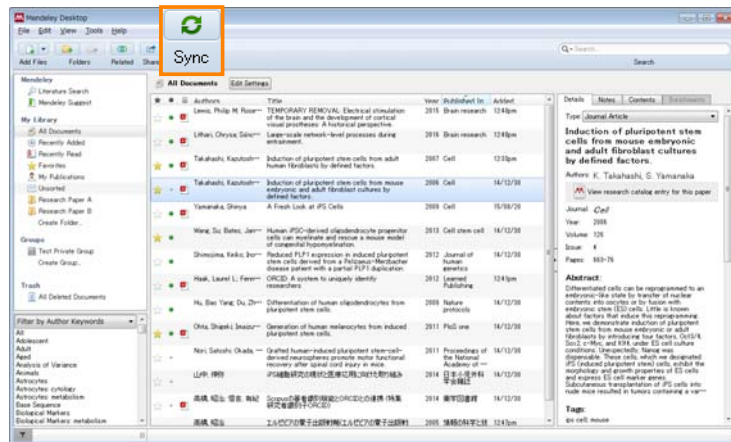
C. ダイレクトエクスポートのメニューを使って文献を追加する

- ScienceDirectの場合: [Export] → [Save to Mendeley]
- Scopusの場合: [Download] → [Mendeley]
- CiNiiの場合: [Mendeleyに書き出し]
- 医中誌Webの場合: [ダイレクトエクスポート] → [Mendeley]

デスクトップ版とウェブ版の同期

① 同期によってどこからでも同じ環境を利用可能に

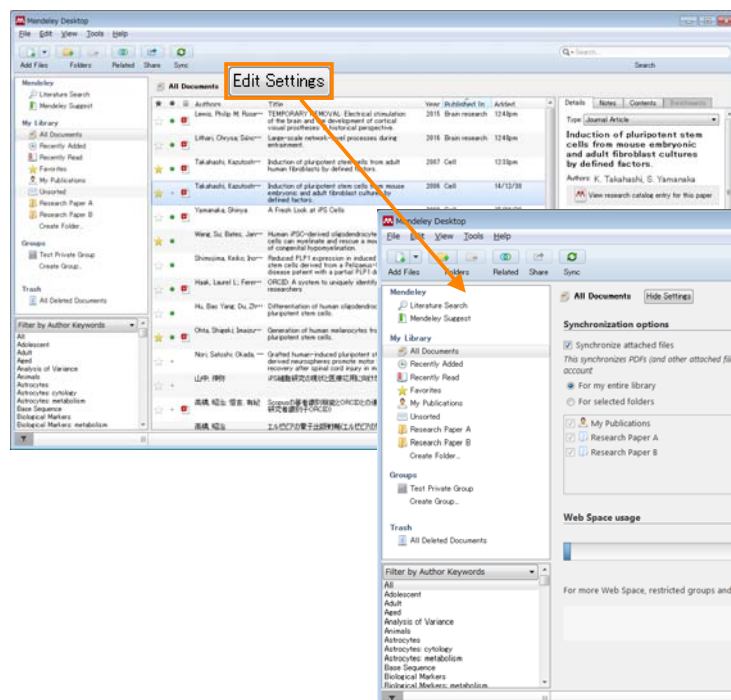
- デスクトップ版の起動時に自動的に同期、または [Sync] ボタンで同期



デスクトップ版とウェブ版の同期

② 空きディスク容量の確認、同期方法の指定

- 無料版ではウェブ版のディスク容量を2GBまで利用できます



添付ファイルの同期方法
ウェブ版と同期をとるフォルダの指定
※ 初期設定では全フォルダ

ウェブ版の空きディスク容量の確認

Save & sync

デモ(4)

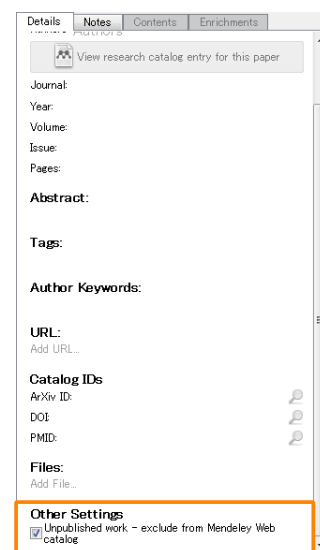
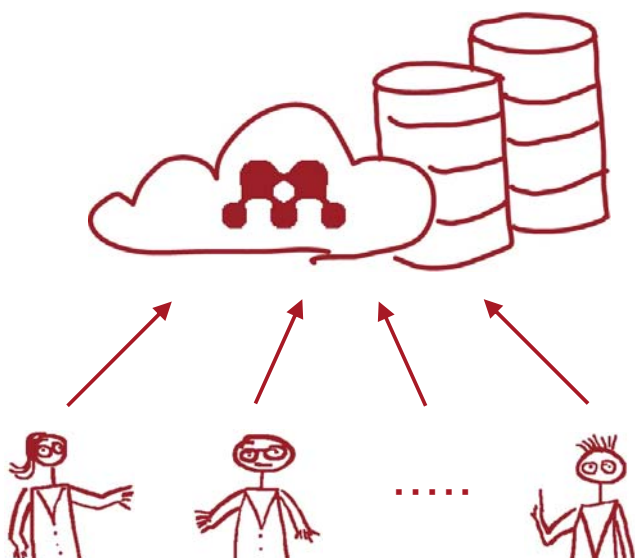
A. デスクトップ版とウェブ版を同期する

1. デスクトップ版の [Sync] ボタンをクリック
→ デスクトップ版とウェブ版で文献が同期されたことを確認
2. デスクトップ版の [Edit Settings] をクリックし、ウェブ版の空きディスク容量と同期方法を確認

オンラインカタログとSuggest

① 世界のユーザーのライブラリ情報をクラウドに収集

- 登録した文献情報は「匿名」でオンラインカタログに索引付けされます

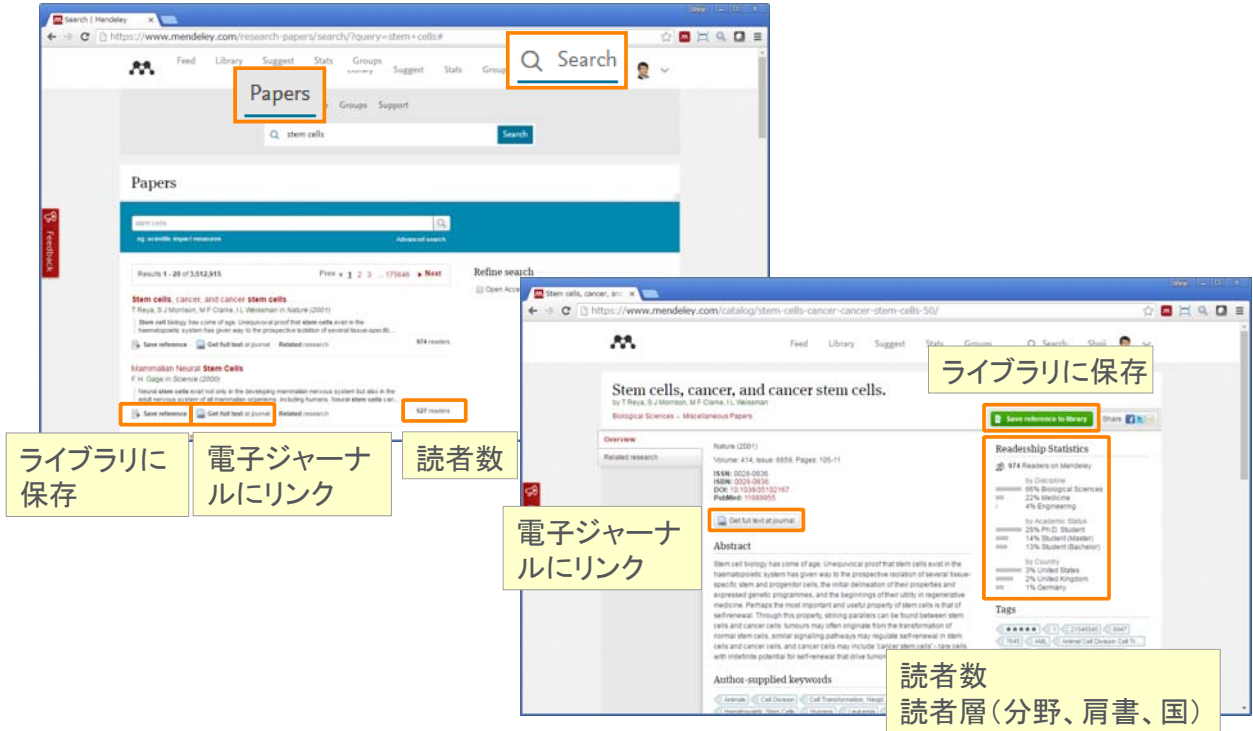


オンラインカタログに索引付けされたくない場合は [Unpublished work] をチェック

オンラインカタログとSuggest

② オンラインカタログの検索

- 世界中のユーザーが登録した文献をオンラインカタログとして検索することができます。

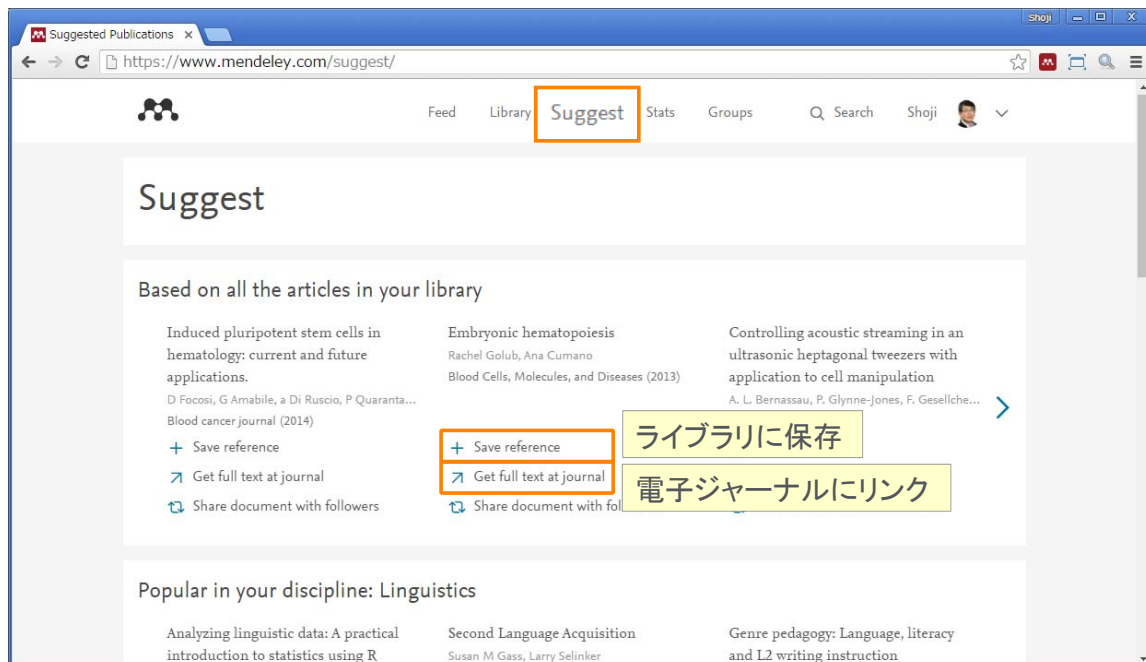


オンラインカタログとSuggest

③ Suggest

- ユーザー別にカスタマイズしたおすすめ論文

- 自分のライブラリ内の論文に基づいたおすすめ
- 自分の分野に基づいたおすすめ
- 最後に追加した論文に基づいたおすすめ



デモ(5)

A. オンラインカタログとSuggest

1. ウェブ版の [Q Search] → [Papers] でオンラインカタログを検索
2. ウェブ版の [Suggest] で、ユーザー別にカスタマイズされたおすすめ論文を表示

文献の追加方法のまとめ

文献管理のスタイルや利用するデータベースによっておすすめの利用方法が異なります

1. 英語のPDFを中心に利用 → デスクトップ版にPDFをインポート
 - 必要に応じて書誌情報をマニュアルで修正
 - DOI、PMID、ArXiv IDで書誌情報を検索することも可能
2. 日本語のPDFも利用 → ウェブ版でCiNiiや医中誌Webから書誌情報をインポート
 - その後PDFをアップロード、または同期後にデスクトップ版でPDFを添付
3. 特定のデータベースから検索開始 → ウェブ版でデータベースから書誌情報をインポート
 - その後PDFをアップロード、または同期後にデスクトップ版でPDFを添付
4. Mendeleyオンラインカタログで検索
 - 注: 最新の情報は収録されていない可能性あり

文献の利用

① ライブラリの管理

- 検索、並べ替え、フォルダを活用し、必要な文献を容易に探すことができます

フォルダ
(新規作成、最近追加、最近表示、お気に入り、発表論文)

並べ替え
(著者名、タイトル、出版年、出版物、追加日)

ライブラリ内の検索

お気に入り
未読
PDFあり
ウェブからPDFをダウンロード可能

タグの付与

文献のフィルタ
(著者キーワード、著者名、タグ、出版物)

Authors	Title	Year	Published In	Added
Lewis, Philip M. Rose...	TEMPORARY REMOVAL: Electrical stimulation of the brain and the development of cortical visual prostheses: A historical perspective.	2015	Brain research	12:40pm
Lithari, Chrysa; Sánc...	Large-scale network-level processes during entrainment	2016	Brain research	12:40pm
Takahashi, Kazutoshi...	Induction of pluripotent stem cells from adult human fibroblasts by defined factors.	2007	Cell	12:33pm
Takahashi, Kazutoshi...	Induction of pluripotent stem cells from mouse embryonic and adult fibroblast cultures by defined factors.	2006	Cell	14/12/30
Yamanaka, Shinya	A Fresh Look at iPS Cells	2009	Cell	15/08/20
Wang, Su; Bates, Jen...	Human iPSC-derived oligodendrocyte progenitor	2013	Cell stem cell	14/12/30
Shi...				
Has...				
Hu...				
Oht...				
Nori, Satoshi; Okada...	Grafted human-induced pluripotent stem-cell-derived neurospheres promote motor functional recovery after spinal cord injury in mice.	2011	Proceedings of the National Academy of ...	14/12/30
山中 伸弥	iPS細胞研究の現状と医療応用に向けた取り組み	2014	日本小児外科学会雑誌	14/12/30
高橋 昭治; 恒志; 有紀	Scopusの著者識別機能とORCIDとの連携 (特集 研究者識別子ORCID)	2014	薬学図書館	14/12/30
高橋 昭治	エルゼビアの電子出版戦略(エルゼビアの電子出版戦略)	2005	情報の科学と技	12:47pm

文献の利用

② PDFビューア

- PDFにハイライトや注釈を付けることができます

Adobe ReaderでPDFを開くことも可能

PDF内の検索

テキストを選択後、ハイライト、注釈、コピー

文献に対するノート
(ライブラリの検索対象)

PDF内の注釈
(ライブラリの検索対象外)

PDF内の検索

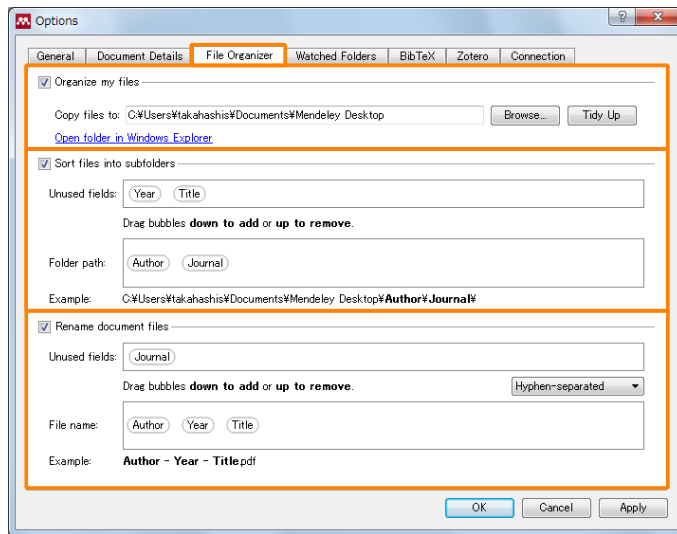
PDF内の注釈

文献の利用

③ PDFの管理

様々な場所に分散しているPDFを
1つのフォルダーにまとめることが
できます。

- Windows: [Tools] メニュー → [Options] → [File Organizer] タブ
- Mac: [Mendeley Desktop] メニュー → [Preferences...] → [File Organizer] タブ



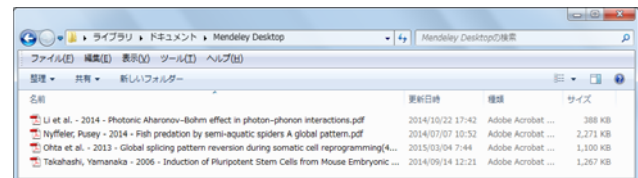
PDFを1つのフォルダにまとめてコピー

PDFをサブフォルダに分類

PDFを自動命名

※ 初期設定はすべてOFF

自動命名で Author - Year - Title を指定した例



デモ(6)

A. ライブラリの文献を管理

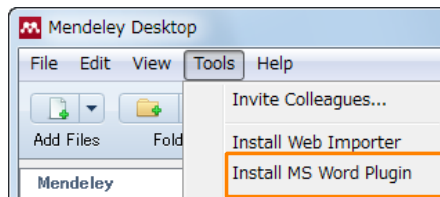
1. ライブラリの各種操作(検索、並べ替え、フォルダ、タグ、フィルタ)を確認
2. PDFを開き、PDFビューアの各種機能(検索、ハイライト、注釈、色の変更)を確認する

B. 取り込んだPDFをコピーし、一定のルールで命名する

1. 以下の方法でFile Organizerを開く
 - Windowsの場合: [Tools] メニュー → [Options] → [File Organizer] タブ
 - Macの場合: [Mendeley Desktop] メニュー → [Preferences...] → [File Organizer] タブ
2. File Organizerの [Organize my files] → [Copy files to:] でPDFのコピー先のフォルダを指定
→ フォルダにPDFがコピーされたことを確認
3. File Organizerの [Rename document files] で命名ルールを指定
→ フォルダ内のPDFの名前が変更されたことを確認

Wordへの参考文献の挿入

① MS Word Pluginのインストール



Windows:

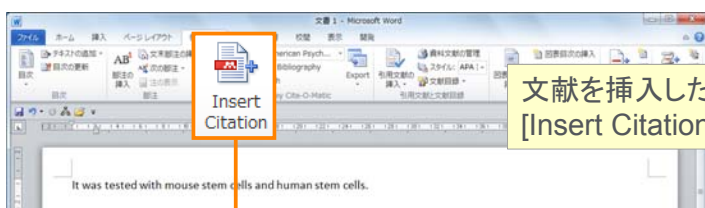


Mac:

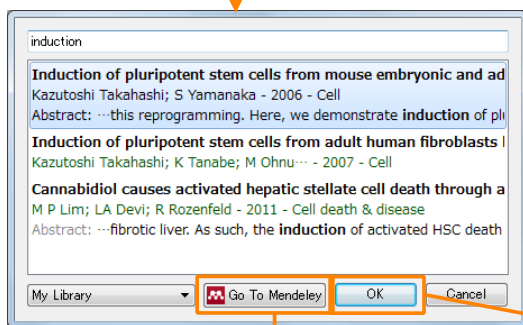


Wordへの参考文献の挿入

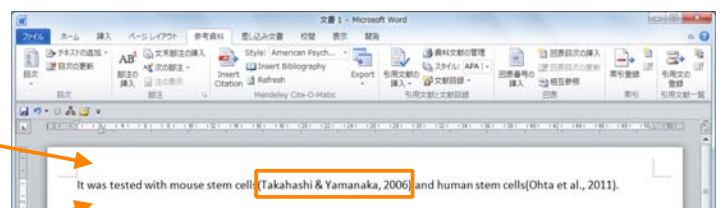
② 文献符号の挿入



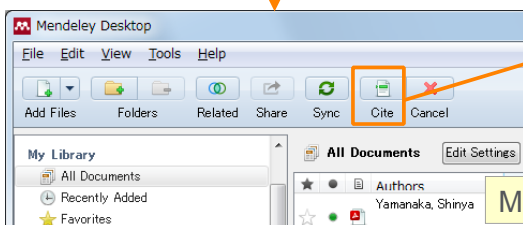
文献を挿入したい個所で
[Insert Citation] をクリック



ポップアップウィンドウで検索して [OK]



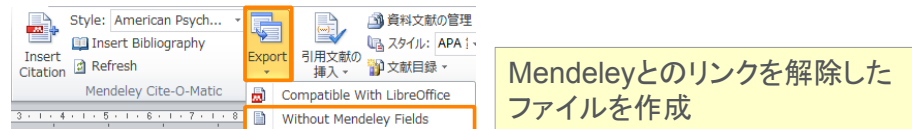
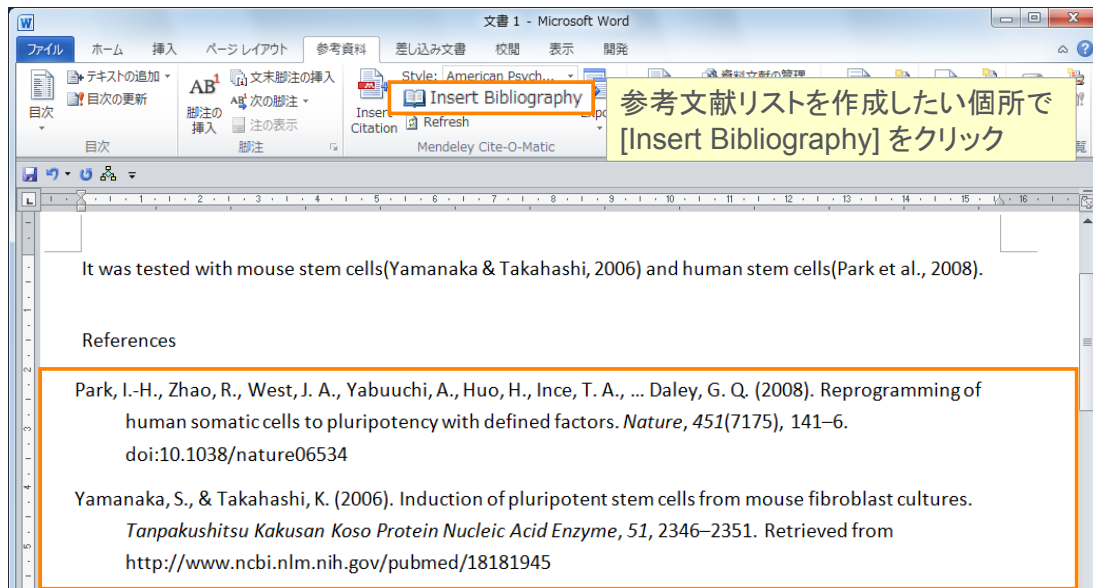
文献符号が挿入される



Mendeley本体で検索して [Cite]

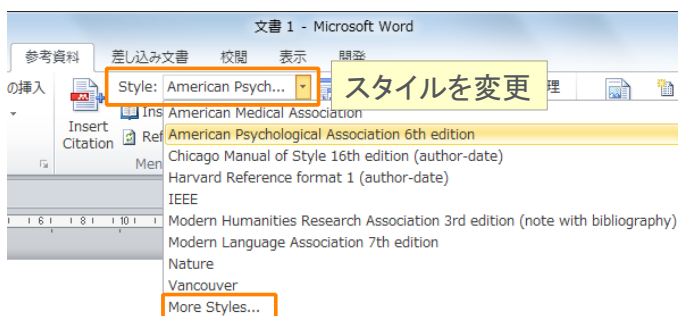
Wordへの参考文献の挿入

③ 参考文献リストの作成

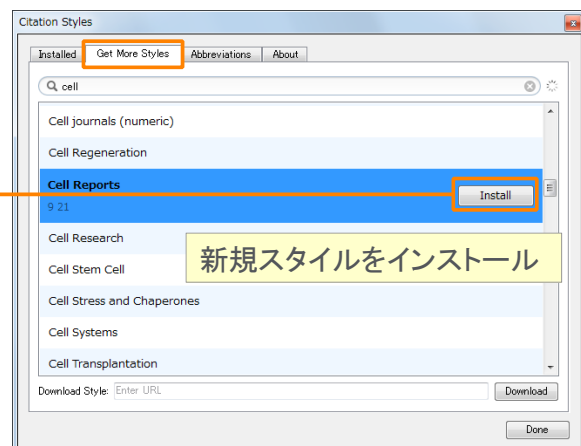
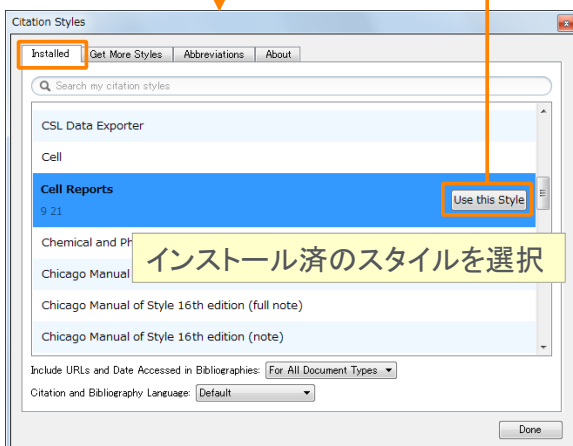


Wordへの参考文献の挿入

④ 参考文献スタイルの変更



日本語の参考文献スタイル
SIST02も利用できます
スタイルはCSL Editorを
使用して編集可能



Wordへの参考文献の挿入

⑤ 参考文献スタイルで表示、個別文献のコピー&ペースト

このスクリーンショットは、Mendeley Desktopのインターフェースを示しています。左側のメニューには「Citation Style」が選択されており、その下に「Library as Table」や「Library as Citations」などのオプションがあります。中央のリストには、2015年から2006年の論文がリストアップされています。右側のペインには、選択された論文の詳細が表示されています。右クリックメニューが開き、「Copy As」や「Export...」などのオプションが示されています。黄色い注釈ボックスには、「参考文献スタイルで表示」、「スタイルを変更」、「右クリックで、個別文献を参考文献形式でコピー&ペースト」という説明が記載されています。

デモ(7)

A. Word文書に参考文献を挿入

1. デスクトップ版からMS Word Pluginをインストール
 - Wordを開き、MS Word Pluginがインストールされていることを確認
2. Wordに適当な文書を入力し、参考文献を挿入
 - [Insert Citation] をクリック
 - ポップアップウィンドウで検索するか、[Go to Mendeley] をクリックしてMendeley内で検索
3. Word文書の最後に参考文献リストを挿入
 - [Insert Bibliography] をクリック
4. Styleプルダウンリストから他のスタイルを選択
 - 参考文献スタイルが変更されたことを確認
5. Styleプルダウンリストに表示されていないスタイルを [More Styles...] から検索

デモで使用するスタイルの例：

- American Psychological Association 6th edition (初期設定) ... 第一著者のアルファベット順
- Nature ... 論文中に現れた順

個人プロフィール、研究者ネットワーク

① 個人プロフィールの編集、発表論文の公開

- 個人のホームページとして発表論文を公開することができます

名前をクリックしてプロフィールの編集ページを表示

E-mail、Password、肩書などを変更

プロフィール情報の公開範囲を設定

各種情報を編集

発表論文を追加

デスクトップ版で追加することも可能

個人プロフィール、研究者ネットワーク

② 他の研究者の検索

- Mendeleyに登録している他の研究者をフォローし、その活動を見ることができます

People Search

フォローする

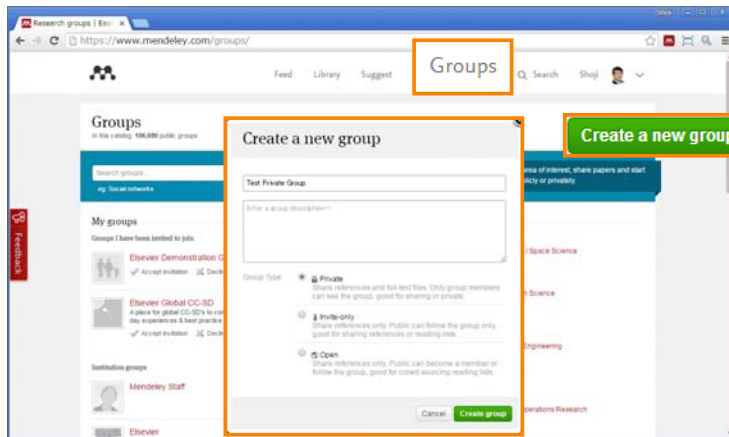
発表論文

フォローしている研究者や参加しているグループの活動が表示されます

グループの利用

① グループの種類と作成

グループの種類	投稿できるのは？	閲覧できるのは？	共有できる文庫	適した用途
Private	Ownerに招待されたメンバー 無料版は3名まで ※ アップグレード可能	Ownerに招待されたメンバー	書誌情報+フルテキスト (PDF)	プライベートな研究プロジェクト
Invite-only	Ownerに招待されたメンバー 無料版は3名まで ※ アップグレード可能	誰でも	書誌情報	リーディングリストの公開
Open	誰でも	誰でも	書誌情報	オープンなディスカッショングループ

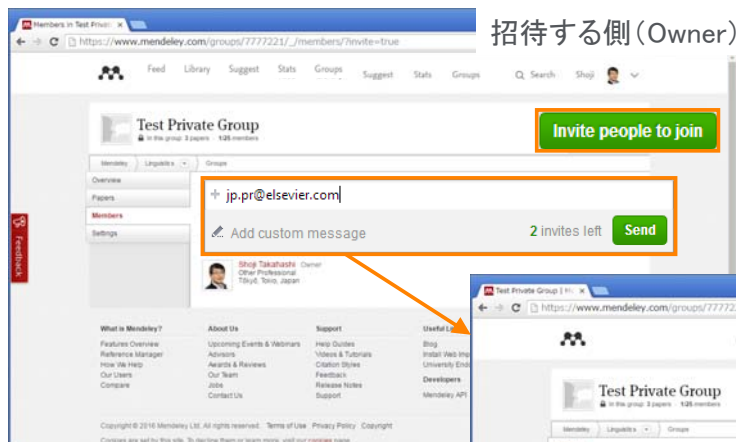


デスクトップ版でもウェブ版でも作成できます

グループの利用

② Privateグループ(1)

- グループを作成したOwnerが他のメンバーを招待します



招待する側 (Owner)



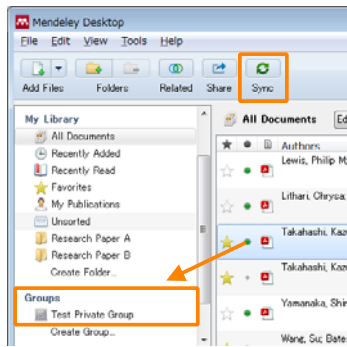
招待される側

招待された人は、[Accept] してグループに参加

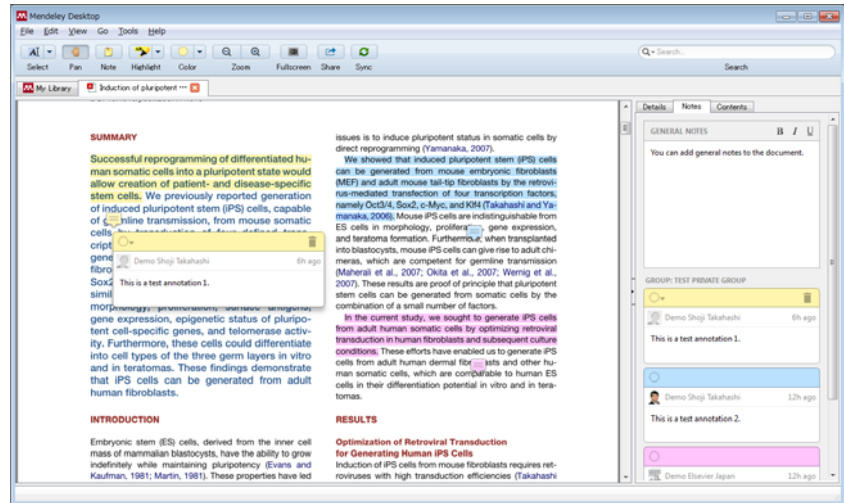
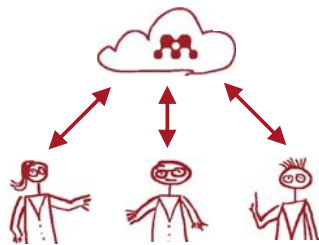
グループの利用

③ Privateグループ(2)

- 書誌情報とPDFを共有することができます(注釈も共有可能)
- 無料版では3人までのグループを1つ作成可能、1人あたりのディスク容量は100MB



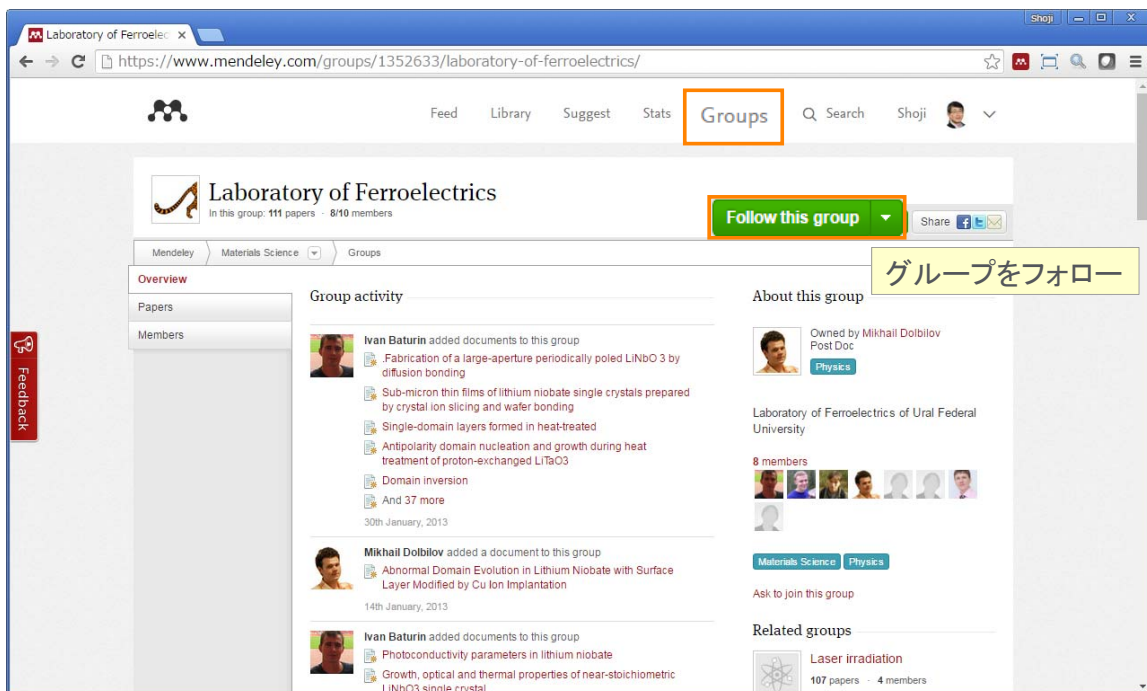
共有したい文献をグループ
にコピー → 同期



グループの利用

④ Invite-onlyグループ

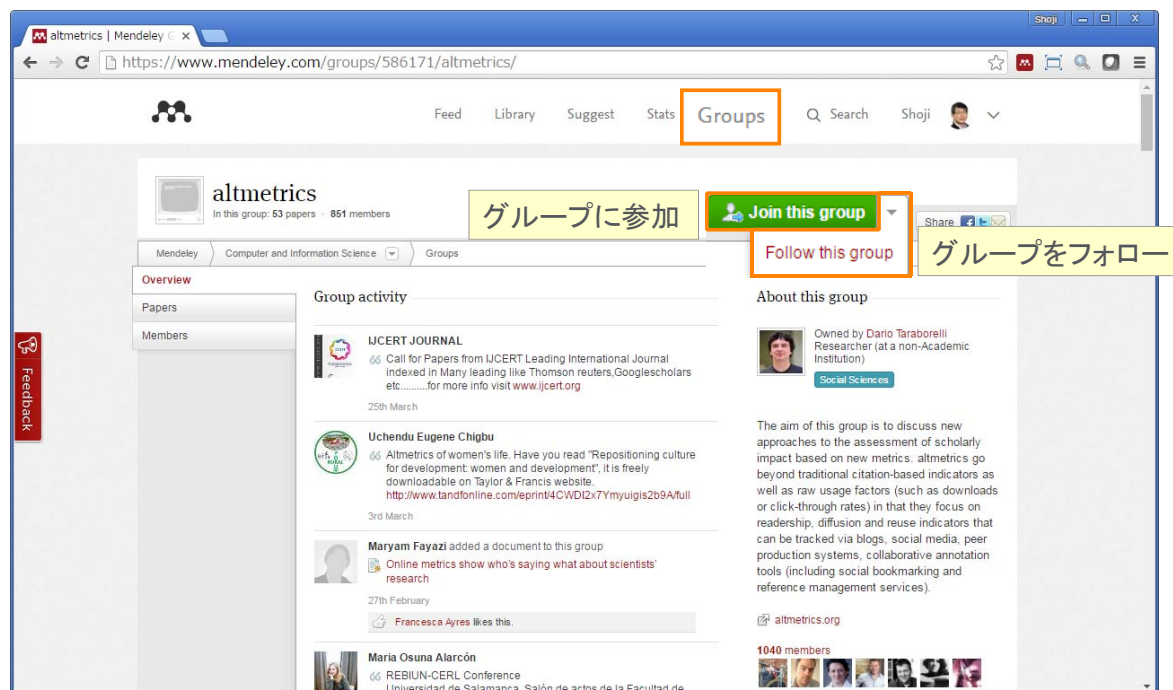
- 研究室の研究成果、リーディングリストの公開に適しています
- 無料版では3人までのグループを1つ作成可能



グループの利用

⑤ Openグループ

- 同じ興味を持つユーザーと情報交換することができます



使い方ガイド、お問い合わせ

- エルゼビア・ジャパン株式会社 (日本語)
 - クイックレファレンスガイド、参考文献スタイルについての情報など
<http://www.elsevier.com/jp/mendeley/users>
- Mendeley Ltd. (英語)
 - 使い方ガイド、ビデオ
<http://community.mendeley.com/guides>
 - FAQ、お問い合わせ
<http://support.mendeley.com>